

純正設置・取扱説明書

BEKOMAT® Vario 20
BEKOMAT® Vario 20 FM

■ 目次

1. 本書についての注意事項	5
1.1 連絡先	5
1.2 設置・取扱説明書に関する情報	5
2. 安全性	6
2.1 使用	6
2.1.1 意図された使用	6
2.1.2 予見可能な誤用	7
2.2 運用者の責任	7
2.3 対象グループと人員	8
2.4 使用される記号の説明	9
2.5 安全に関する注意事項および警告マーク	10
2.5.1 基本的な安全上の注意事項	10
2.5.2 安全な運転	10
2.5.3 加圧された液体の急速な流出	11
2.5.4 電圧	11
2.5.5 輸送と保管	12
2.5.6 設置	12
2.5.7 メンテナンス	13
2.5.8 有害物質の取扱い	13
2.5.9 電子コンポーネントでの作業	14
2.5.10 スペアパーツ、アクセサリまたは材料の使用	14
2.6 警告マーク	14
3. 製品情報	15
3.1 納入内容	15
3.2 製品概要	15
3.3 BEKOMAT® 20 Varioの展開図	16
3.4 BEKOMAT® 20 Vario FMの展開図	17
3.5 機能説明	18
3.6 銘板	19
3.7 設置寸法	19
4. 技術データ	20
4.1 稼働パラメータ	20
4.2 保管パラメータおよび輸送パラメータ	21
4.3 材質	21
4.4 ボルト締め付けトルク	21
4.5 寸法	22
4.6 結線図	23
4.6.1 AC電源アダプタボード	23
4.6.2 DC電源アダプタボード	23
5. 輸送と保管	24
5.1 輸送	24
5.2 保管	24

6. 取り付け	25
6.1 警告マーク	25
6.1.1 取り付け条件.....	25
6.2 取り付け作業.....	27
7. 電気設備	29
7.1 接続作業	29
7.1.1 電圧供給接続.....	30
7.1.1.1 AC電源アダプタボード	30
7.1.1.2 DC電源アダプタボード	34
7.1.2 無電荷状態の接点接続.....	38
7.1.3 外部TESTボタンの接続.....	39
8. 試運転	40
8.1 警告マーク	40
8.2 立ち上げ作業.....	40
9. 運転	41
9.1 警告マーク	41
9.2 運転状態	41
9.2.1 BEKOMAT® 20 Vario	41
9.2.2 BEKOMAT® 20 Vario FM.....	43
9.2.2.1 フィルタ管理機能のリセット.....	44
10. メンテナンス	45
10.1 警告マーク	45
10.2 メンテナンススケジュール.....	46
10.3 メンテナンス作業	46
10.3.1 消耗部品の交換	46
10.3.2 機能テスト	49
10.3.3 目視検査	49
10.3.4 リークテスト	49
10.3.5 清掃.....	50
11. 消耗品、アクセサリおよび交換部品	51
11.1 注文情報	51
11.2 アクセサリ	51
11.3 交換部品およびシールセット	51
12. 使用停止措置	52
12.1 警告マーク	52
12.2 運転停止措置のための作業.....	52
13. 取り外し	53
13.1 警告マーク	53
13.2 取り外し作業.....	54


14. 廃棄処分	55
14.1 警告マーク	55
14.2 運転資材および補助資材の廃棄処分	56
14.3 コンポーネントの廃棄処分	56
15. 解決策	57
16. 添付書類	58
16.1 証明書および適合宣言	58
17. 適合宣言	60
18. メモ	63

1. 本書についての注意事項


本書では製品やアクセサリの使用および運転に必要な全ての手順について説明します。

1.1 連絡先

メーカー	サービスおよびツール担当
BEKO TECHNOLOGIES GmbH Im Taubental 7 41468 Neuss 電話：+49 2131 988 - 1000 info@beko-technologies.com www.beko-technologies.com	BEKO TECHNOLOGIES GmbH Im Taubental 7 41468 Neuss 電話：+49 2131 988 - 1000 service-eu@beko-technologies.com www.beko-technologies.com


情報	国別メーカーの代理店
	国別メーカーの代理店連絡先は裏面にある住所表示をご参照いただくかメーカーのウェブサイトにあるフォームから作成することができます。

1.2 設置・取扱説明書に関する情報

情報	著作権
	テキスト、画像、写真、図面、回路図、その他の表現方法による設置・取扱説明書の内容は、メーカーの著作権として保護されています。この文書の譲渡ならびに複製、その内容の使用および伝達は、明示的に許可されている場合を除き、禁止されています。

公開日	改訂	バージョン	変更理由	変更の範囲
2021年06月24日	01	00	編集上の改訂	編集上の変更
2022年9月1日	02	00	技術データの変更	技術データの変更
2024年2月1日	03	00	編集上の改訂	編集上の変更

設置・取扱説明書（以下、説明書）は、常に製品の近くにもいつでも参照できる状態で保管してください。製品を売却または譲渡する際は説明書も共に渡す必要があります。

注記	説明書の内容に留意してください
	この説明書は製品を安全に運転するための基本情報が網羅しており、如何なる操作を行う場合でも事前に通読しておく必要があります。本書を読まずに使用した場合、人的および物的損害、ならびに機能故障および運転トラブルの危険が生じるおそれがあります。

2. 安全性

2.1 使用

BEKOMAT® Vario 20 / Vario 20 FM（以下、「製品」または **BEKOMAT®** とも表記）は、電子レベル制御式ドレンアスタであり、加圧システム内のドレンを排出するために使用されます。**BEKOMAT®** は、圧力損失なしに運転圧下でドレンを排出します。

2.1.1 意図された使用

この説明書に記載されていない使用方法は不適切と見なされ、人や環境の安全性を危険にさらす可能性があります。

適切に使用するには以下の点に注意してください：

- 説明書をお読みになり、よく従ってください。
- 製品とアクセサリは、屋内のみでご使用ください。
- 製品とアクセサリは、技術データに記載されている運転パラメータの範囲内でのみご使用ください。
- 製品およびアクセサリは、技術データの章内に記載されている稼働パラメータおよび合意された納入条件の範囲内でのみご使用ください。
- 製品とアクセサリは、苛性、攻撃性、腐食性、毒性、可燃性、酸化性または無機性の成分を含まない媒体でのみご使用ください。疑わしい場合は分析を行ってください。
- 製品とアクセサリは、発生する撥水が最大となりうる環境でのみご使用ください。撥水は、腐食性成分を含まないものでなければなりません。
- 製品とアクセサリは、毒性および腐食性の化学物質やガスのない領域でのみご使用ください。
- 製品およびアクセサリは、適切な接続、パイプ径および取り付けスペースを備え、„4. 技術データ“ ページ上で 20 の章内に記載されている稼働パラメータ用に設計された配管システムの範囲内でのみご使用ください。
- 製品およびアクセサリは、爆発の危険性がある領域の外側でのみご使用ください。
- 製品とアクセサリは直射日光や熱源の影響を直接受ける領域や凍結する危険性のない領域で使用してください。
- 製品とアクセサリは、説明書に記載されており推奨されている、メーカーの製品およびコンポーネントとのみ併用してください。
- 所定のメンテナンススケジュールをお守りください。

運用者は製品とアクセサリを使用する前に、適切に使用するための全ての条件と前提条件を満たすよう調節を行ってください。

製品とアクセサリは商工業区画での定置運用でのみご使用ください。記載されている全ての取り付け、設置、運転、メンテナンス、取り外しおよび廃棄の作業は、有資格の専門スタッフのみが実施可能です。

2.1.2 予見可能な誤用

製品またはアクセサリが「使用目的」の章に記載されている以外の方法で使用された場合は、予見可能な誤用と見なされます。予見可能な誤用には、メーカーまたはサプライヤーが意図していない方法での製品またはアクセサリの使用が含まれますが、それが予見可能な人員の行為に起因する可能性もあります。

予見可能な誤用には、以下のケースが含まれます：

- あらゆる種類の改造、特に構造およびプロセス技術関連の変更
- 既存のまたは推奨される安全設備の無効化または不使用。
- 二酸化炭素を運転媒体とするシステム内での、製品およびアクセサリの使用。

このリストはすべてを網羅するものではありません。すべての誤用の可能性があらかじめ予想できるわけではありません。運用者がここに記載されていない製品やアクセサリの誤用を認識している場合は、メーカーに直ちに通知する必要があります。


2.2 運用者の責任

事故、障害、および環境への悪影響を避けるために、責任を負う運用者は、以下の点について確認する必要があります：

- 操作を行う前には必ず、当説明書が製品に属するものかどうかを確認してください。
- 製品とアクセサリが意図したとおりに使用、保守、および整備されている。
- 製品とアクセサリが推奨されている機能性の良い安全装置とのみ併用されている。
- 全ての取り付け作業、設置作業およびメンテナンス作業は、有資格の専門スタッフのみが行っている。
- 作業員に必要な個人用保護具が提供され、使用されている。
- 許容される稼働パラメータは適切な技術的安全措置により維持されている。
- 製品に貼付されている全ての安全標識と銘板が、読みやすい状態に保たれている。損傷した標識や判読しにくい標識は直ちに交換してください。

2.3 対象グループと人員

この説明書は、製品またはアクセサリで作業を行う以下の人員を対象としています。

情報	作業員に対する要件
	<ul style="list-style-type: none"> 本製品またはアクセサリで作業を行うことができるのは、成人年齢に達した人員のみです。 人員が薬物、医薬品、アルコールまたはその他の意識に悪影響を及ぼす物質の影響下にある場合には、その人員は製品またはアクセサリで作業を行うことができません。

オペレータ

オペレータは説明書内容の知識や製品およびアクセサリについての指示を基に、製品およびアクセサリを安全に操作できる人員のことで、オペレータは起こり得る障害や危険な状況を自身で認識し、適切な措置の指示を出すことができます。

輸送・保管専門スタッフ

輸送・保管専門スタッフとは、訓練を受け、専門的経験と資格によって必要な技能を持ち、製品の輸送と保管に関連するすべての措置を安全に実施または指示し、危険な状況を自ら認識し、安全対策を講ずることができる人員のことで、

この技能には、ホイスト、フォークリフト、リフティングツールおよびリフティング機器の取り扱い経験、ならびに輸送、保管に関して地域で適用される法律、基準およびガイドラインについての知識が特に含まれます。

圧力機器・設備専門スタッフ

圧力機器・設備専門スタッフとは、訓練、専門的経験および資格によって、加圧された液体およびシステムに関連する全ての行為を安全に実行し、それらの行為を指示し、発生しうる危険な状況を自ら認識し、危険回避の措置を実行するために必要な全ての技能を有する人員のことで、

こうした技能には、計測技術、制御技術および規制技術の取り扱い経験、ならびに加圧されたシステムに関して地域で適用される法律、規格およびガイドラインの知識が特に含まれます。

電気技術専門スタッフ

電気技術専門スタッフとは、訓練を受け、専門的経験と資格によって必要な技能を持ち、電気関連の措置を安全に実施または指示し、危険な状況を自ら認識し、安全対策を講ずることができる者のことで、

こうした技能には、電気設備、計測技術、制御技術、および規制技術の取り扱い経験、電気技術を取り扱うために地域で適用される法律、基準およびガイドラインについての知識が特に含まれます。

サービス専門スタッフ

サービス専門スタッフとは、前記のような全ての専門スタッフの定義に記載された技能および資格を有する人員のことで、サービス専門スタッフは、製品に関するすべての作業について訓練を受け、認可を受けたことを証明できなければなりません。

2.4 使用される記号の説明

以下の記号は製品を取り扱う際、安全かつ最適な操作を保証するために守る必要のある安全に関する重要な情報を示しています。

記号	説明/解説
	一般的な警告記号（危険、警告、注意）
	加圧システムに関する警告
	電圧に関する警告
	設置・取扱説明書を読み、遵守してください
	一般的な義務マーク
	安全靴を着用
	保護手袋(耐切断性および耐液体性)を着用
	側面保護付きの保護めがね(ゴーグル)を着用
	一般情報

2.5 安全に関する注意事項および警告マーク

この章では、人員の保護、ならびに製品とアクセサリの安全で障害のない運転のための全ての重要な安全面に関する概略を説明します。

これに続く章では、本製品とアクセサリを使用目的に沿って使用した場合であっても発生する危険について記載されています。人身傷害および物的損害の危険を最小限に抑え、危険な状況を回避するためには、記載されている安全上の注意事項を守り、本説明書の他の章に記載の警告マークを遵守してください。

基本的な安全上に関する注意事項および専門スタッフに必要な資格は、各章冒頭の「警告マーク」の項に記載されています。

操作ステップ別の警告マークは、潜在的に危険な操作ステップまたは操作シーケンスの直前に表示されています。

安全上の注意事項及び警告マークに従わなかった場合、人身傷害に加えて機能障害、運転障害、および物的損傷をまねく危険性があります。

2.5.1 基本的な安全上の注意事項

- 作業の開始前にはシステム全体の技術文書を参照し、全ての取扱説明書に従ってください。
- 作業の開始前には、現場でリスク評価を実施してください（Last Minute Risk Assessment）。
- 作業時には必ず適切な個人用保護具を使用してください。
- 設置作業、メンテナンス作業および修理作業の際は、必ず作業場所の周囲に安全領域を設けてください。
- 確実にスイッチをオフにして、システムまたはシステムセグメントを隔離するためには、既存の工場固有の安全保護手順（例：ロックアウト-タグアウト-手順）を使用してください。

2.5.2 安全な運転

次のような操作をすると、人員が死亡するか、または重傷を負う原因になるおそれがあります：

- 製品とアクセサリの許容限度および運転パラメータを超えた試運転および運転
- 製品とアクセサリに対する許可のない介入および許可のない改造

製品とアクセサリの安全な運転を保障するためには、以下の点を守ってください：

- 銘板と説明書に記載の限界値と稼働パラメータを守ってください。
- 許容された運転パラメータがアクセサリの使用によって変更または制限されていないかどうか、確認してください。
- 設置条件および周囲条件を遵守してください。
- メンテナンス間隔を遵守してください。

2.5.3 加圧された液体の急速な流出

次のような状況は、人員が死亡するか、または重傷を負う原因になるおそれがあります：

- 急速または急激に流出する液体との接触
- 設備部品の破裂
- 加圧されたホースケーブルや配管の鞭打ち動作

加圧システムを安全に取り扱うためには、以下の点を守ってください：

- 作業時には必ず以下の安全規則に従ってください：
 1. システムまたはシステムセグメントのスイッチをオフにします。
 2. システムまたはシステムセグメントのスイッチが再びオンにならないように固定してください。
 3. システムまたは全てのシステムセグメント内の圧力を周囲圧力まで下げてください。
たとえば、逃し弁によって、制御された方法でゆっくりと圧力を解放してください
 4. システムまたはシステムセグメントが再び加圧されないように固定してください。
- システムまたはシステムセグメントの安全性、汚染および損傷の有無を点検してください。
- 加圧する前にはシステムのすべての接続部の気密性を点検し、必要に応じて締めつけ直してください。
- システムまたはシステムセグメントはゆっくりと加圧してください。
- 圧力ショックと高差圧は避けてください。
- 配管網内で発生する振動を振動ダンパーで補償します。

2.5.4 電圧

活線部品に触れると、人員が死亡するか、または重傷を負う原因になるおそれがあります。

活線部品を安全に取り扱うためには、以下の点を遵守してください：

- 製品とアクセサリは、欠陥のない状態でのみ電源に接続してください。
- 設置時には、その地域で適用される全ての法的規制および規定を遵守してください。
- 製品の容易にアクセスできる近辺に、電源の遮断器具を設置してください。
- 遮断器具は、すべての通電導体を遮断します。
- 規則に従って保護導体（アース）を接続してください。
- 製品とアクセサリは、カバー、電子機器ハウジング、または制御キャビネットが完全に閉じた状態でのみ運転してください。
- 製品での作業開始前には：
 1. ロックを解除します
→ 製品の全ての極および側面を遮断します
 2. スイッチが再びオンにならないように固定します
 3. 全ての極に電圧がかかっていないことを確認します
→ 適切な許容された測定装置（例：2極電圧テスター）を使用します
 4. アースおよび短絡

2.5.5 輸送と保管

不適切な輸送または保管は、人身傷害または物的損害の原因になるおそれがあります。

製品およびアクセサリを安全に輸送し安全に保管するためには、以下の点を守ってください：

- 梱包資材を扱う作業をする際は必ず個人用保護具を使用してください。
- 梱包材、製品およびアクセサリは慎重に取り扱ってください。
- 製品とアクセサリは、包装に記載された標識に従って輸送し、取り扱ってください。
- 欠陥のない適切な輸送器材、リフティング装置、スリングのみを使用してください。
- 製品の総重量用に設計された輸送器材、リフティング装置、スリングのみを使用してください。
- 許容された輸送パラメータおよび保管温度を守ってください。
- 製品とアクセサリは必ず直射日光や熱源による影響のない場所に保管してください。

2.5.6 設置

製品およびアクセサリの不適切な取り付けまたは電氣的設置は、人身傷害および物的損害の原因になるおそれがあり、運転中に障害の原因となるおそれもあります。

安全な取り付けおよび電氣的設置を行うためには、以下の点を守ってください：

- 製品、アクセサリ、使用される全ての部品および材料は、機械的張力がかからないように取り付けてください。
- 全てのプラグ接続が正しいことを確認してください。
- 適切なケーブル配線およびホース配線によって、つまり危険がないようにしてください。
- ケーブルに機械的な負荷がかからないようにしてください。
- 全てのホースは締めて固定し、叩き付けられるような動きが発生しないようにしてください。
- 供給管をしっかり接続してください。

2.5.7 メンテナンス

メンテナンス作業および修理作業を不適切な方法で実施すると、人員が重傷を負うか、または死亡する原因になるおそれがあります。

安全なメンテナンスおよび修理のためには、以下の点を守ってください:

- 作業開始の前には、加圧製品とアクセサリの空気を抜き、不意に圧力が掛からないように固定してください。
- 作業開始の前には、製品とアクセサリの電源スイッチを切り、不意に再びスイッチがオンにならないように固定してください。
- 各アプリケーション用に承認された材料のみを使用してください。
- 欠陥のない状態にある適切なツールのみを使用してください。
- 汚れや腐食のない洗浄済みの配管およびホースのみを使用してください。
- 外側のコーティング（例：標識、銘板、腐食防止層など）を損傷するおそれのある、研磨剤の入った侵襲性の洗浄剤または溶剤は使用しないでください。
- 先のとがった物、または硬い物を清掃に使用しないでください。
- 清掃には、指定された材料および媒体のみを使用してください。
- 法的な衛生規則、地域の衛生規則、および社内で適用される衛生規則に従ってください。
- メンテナンス作業および修理作業の際には、整理整頓と清潔にご注意ください。開かれた製品またはアクセサリに汚れが入らないようにしてください。取り外したコンポーネントおよびアクセサリは、直ちに安全な場所で保管してください。
- メンテナンス作業および修理作業の終了後には、全ての使用ツール、洗浄剤、および不要になった部品を作業場所から除去してください。
- 製品とアクセサリは、清掃が済み、残留媒体がない状態になった場合のみ廃棄してください。
- 全ての部材、コンポーネント、運転資材、補助資材および洗浄媒体は、その地域で適用される法的規制および規定に従って適切に廃棄してください。
- 電気部品および電子部品は、専門の廃棄処理業者に任せて廃棄するか、またはメーカーに返送してください。

2.5.8 有害物質の取扱い

ドレンに含まれている健康や環境に有害な物質は、皮膚、目および粘膜に触れた場合にはこれらを刺激し、損傷を与えるおそれがあります。また、有害物質で汚染されたドレンは、下水道や水域または地表に排出しないでください。

有害物質で汚染されたドレンを安全に取り扱うためには、以下の点を守ってください:

- ドレンを取り扱う際には、適切な保護具を使用してください。
- 漏れたりこぼれたりしたドレンは、その地域で適用される法的規制および規定に従って回収し、処理してください。

2.5.9 電子コンポーネントでの作業

静電気放電（ESD）は、電子コンポーネントに損傷を与え、機能障害、運転障害または材料破損の原因となるおそれがあります。

- 静電気放電を防ぐための適切な措置を講じてください（例：アース、等電位ボンディング、ESD対応消散性作業文書など）。

2.5.10 スペアパーツ、アクセサリまたは材料の使用

不適切なスペアパーツ、アクセサリまたは材料、ならびに補助資材および運転資材を使用すると、死亡の危険または重傷を負う危険が生じます。機能障害および運転障害、ならびに物的損害の発生するおそれがあります。


- 全ての作業時には、メーカーが指定した損傷していない純正部品、補助資材および運転資材のみを使用してください。
- 各用途について承認された材料、および欠陥のない状態にある適切なツールのみを使用してください。
- 汚れや腐食のない洗浄済みのパイプのみを使用してください。
- 電気的安全性に関して、その地域で適用される法的規制および規定（規格、指令など）に準拠した電気コンポーネントおよび材料のみを使用してください。

2.6 警告マーク

警告マークは、製品とアクセサリの取り扱いにおける危険を警告します。

人身傷害、物的損害、および運転中の障害を避けるために、警告マークに従ってください。

構造設計：

シグナルワード	危険の種類と原因
 記号	危険を無視した場合に起こり得る結果 • 危険から逃れるための措置

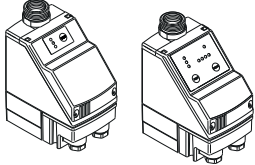

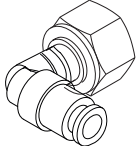
シグナルワード：

危険	差し迫った危険 注意を怠った場合の帰結:死亡または重傷
警告	差し迫った危険 注意を怠った場合の帰結:死亡または重傷につながるおそれがあります
注意	潜在的な危険 注意を怠った場合の帰結:人身傷害または物的損害のおそれがあります
注記	追加的注意事項 注意を怠った場合の帰結:物的損害および運転上の不利益が生じるおそれがあります。人員や安全な運転を危険に晒さないこと。

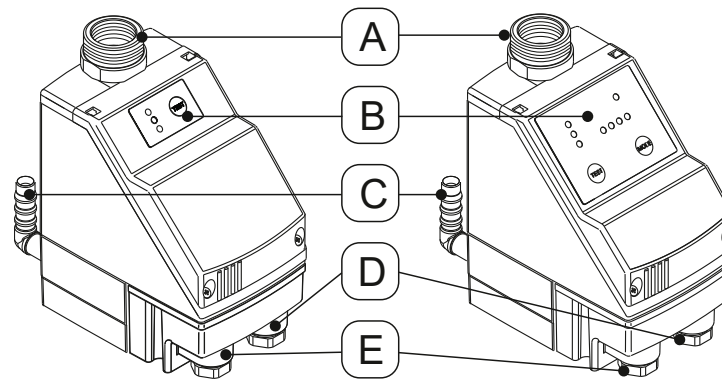
3. 製品情報

3.1 納入内容

下表に製品の納入範囲を示します：

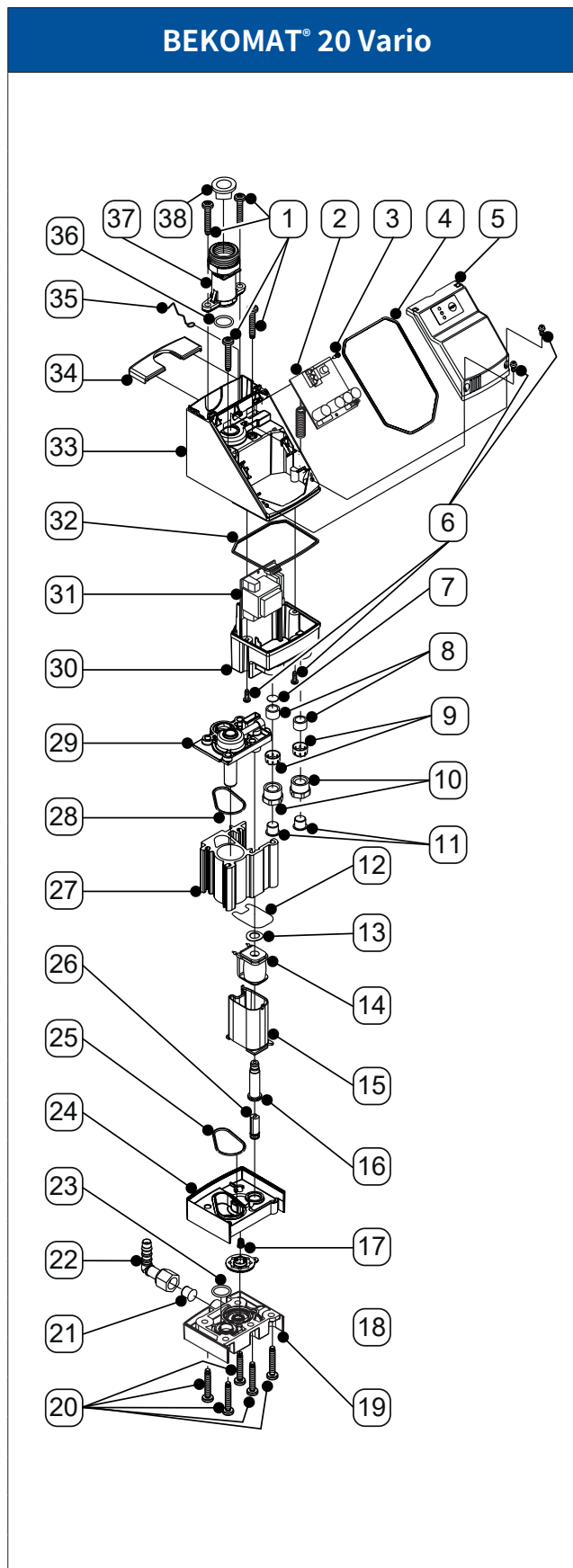
図	説明/解説
	<p>BEKOMAT® Vario 20 / Vario 20 FM</p>
	<p>純正設置・取扱説明書</p>
	<p>1 x アングルスリーブ</p>

3.2 製品概要



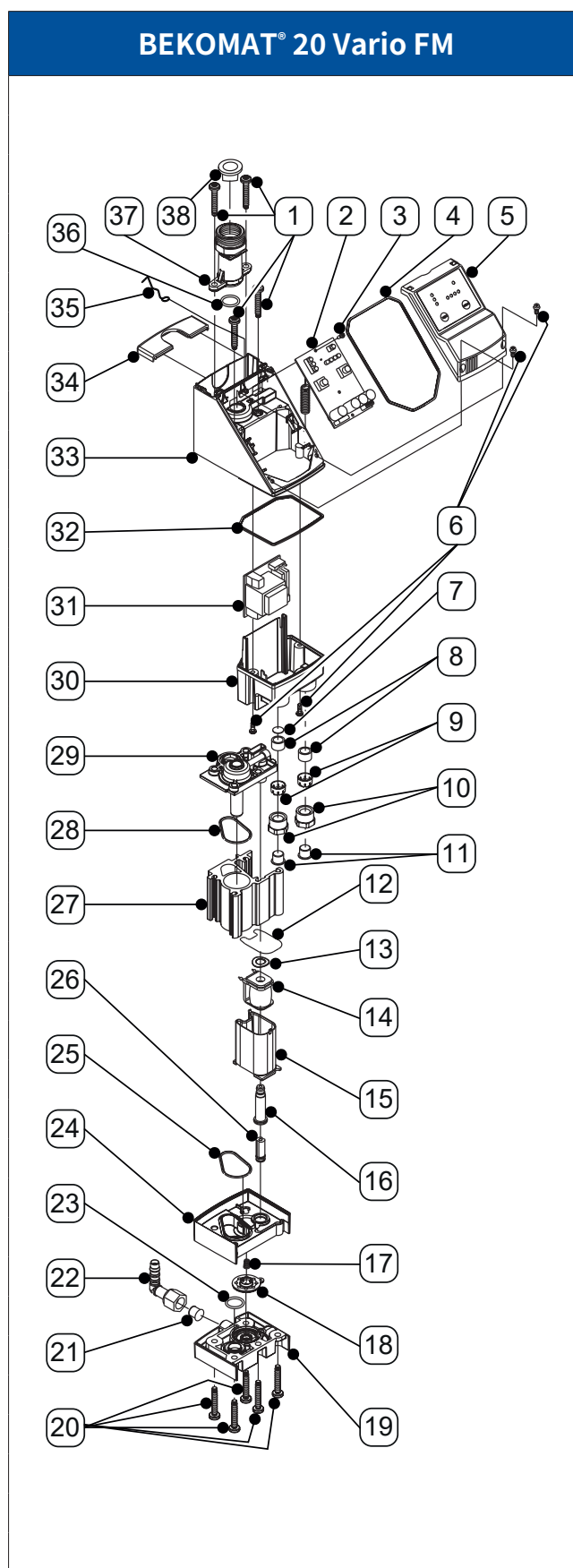
アイテム番号	説明	アイテム番号	説明
[A]	ドレン入口	[D]	ケーブルグランド右:無電位接点
[B]	操作ラベル	[E]	ケーブルグランド左:電源
[C]	ドレン排出口		

3.3 BEKOMAT® 20 Varioの展開図



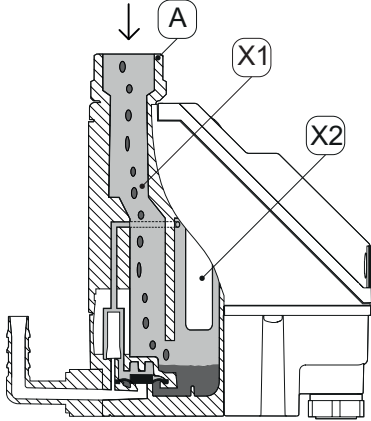
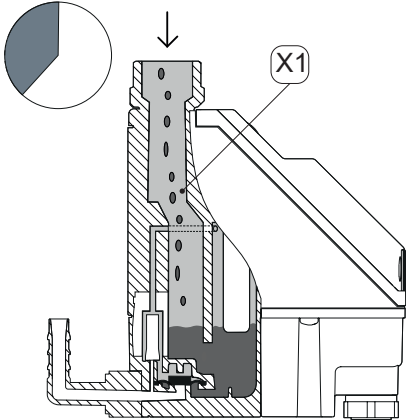
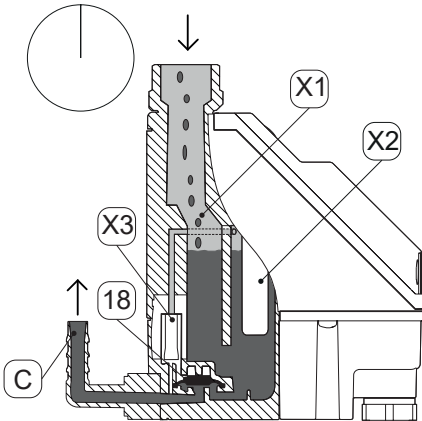
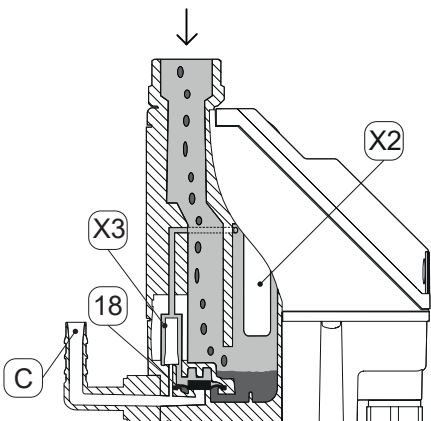
アイテム番号	説明/解説
[1]	ボルト M5 x 30
[2]	制御ボード
[3]	ボルト M2.5 x 8
[4]	シールリング 2 x 295 mm
[5]	フロントフード
[6]	ボルト M3.5 x 10
[7]	防塵ディスク
[8]	ガスケット
[9]	内張りクランプ
[10]	パワースクリュー
[11]	栓 ϕ 10 mm
[12]	成形シール
[13]	スプリングワッシャ
[14]	ケーブル付きマグネットコイル
[15]	コイルハウジング
[16]	コアガイドパイプ 3/2方向
[17]	圧縮ばね
[18]	ダイヤフラム:
[19]	ダイヤフラムシート
[20]	ボルト M5 x 30
[21]	円錐形閉子
[22]	アングルスリーブ G1/4
[23]	Oリング 14 x 1.78 mm
[24]	ダイヤフラムカバー
[25]	Oリング 31 x 2 mm
[26]	バルブコア
[27]	センサハウジング
[28]	Oリング 31 x 2 mm
[29]	センサーチューブプレート
[30]	電源アダプタのハウジング
[31]	制御ボード
[32]	シールリング 2 x 212 mm
[33]	ボードケース
[34]	カバー
[35]	アース接点
[36]	Oリング 14 x 1.78 mm
[37]	アダプタ 入口 G3/4 外側、G1/2 内側
[38]	栓 G1/2

3.4 BEKOMAT® 20 Vario FMの展開図



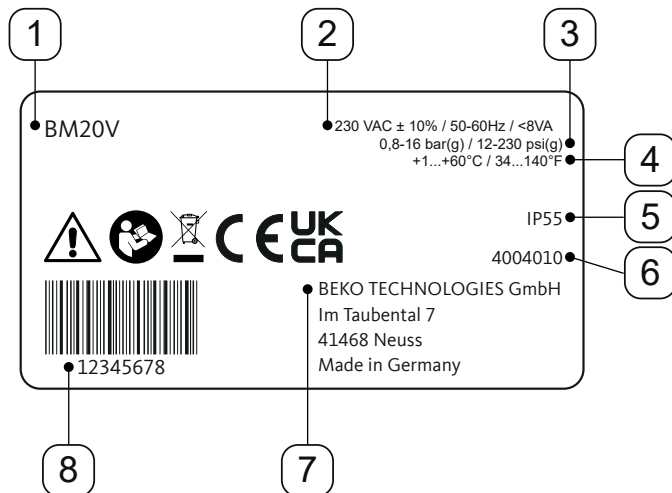
アイテム番号	説明/解説
[1]	ボルト M5 x 30
[2]	制御ボード
[3]	ボルト M2.5 x 8
[4]	シールリング 2 x 295 mm
[5]	フロントフード
[6]	ボルト M3.5 x 10
[7]	防塵ディスク
[8]	ガスケット
[9]	内張りクランプ
[10]	パワースクリュー
[11]	栓 ϕ 10 mm
[12]	成形シール
[13]	スプリングワッシャ
[14]	ケーブル付きマグネットコイル
[15]	コイルハウジング
[16]	コアガイドパイプ 3/2方向
[17]	圧縮ばね
[18]	ダイヤフラム:
[19]	ダイヤフラムシート
[20]	ボルト M5 x 30
[21]	円錐形閉子
[22]	アングルスリーブ G1/4
[23]	Oリング 14 x 1.78 mm
[24]	ダイヤフラムカバー
[25]	Oリング 31 x 2 mm
[26]	バルブコア
[27]	センサハウジング
[28]	Oリング 31 x 2 mm
[29]	センサーチューブプレート
[30]	電源アダプタのハウジング
[31]	電源アダプタボード
[32]	シールリング 2 x 212 mm
[33]	ボードケース
[34]	カバー
[35]	アース接点
[36]	Oリング 14 x 1.78 mm
[37]	アダプタ 入口 G3/4 外側、G1/2 内側
[38]	栓 G1/2

3.5 機能説明

図	説明/解説
	<p>ドレンは、ドレン入口 [A] から BEKOMAT® に流入し、回収容器 [X1] 内に集められます。</p> <p>回収容器 [X1] 内の充填レベルは、センサーチューブ [X2] 内の容量センサーによって継続的に監視されています。</p>
	<p>ドレンが最大充填量に達すると、すぐに制御装置内では事前に設定された待機時間が開始されます。</p> <p>待機時間中には、回収容器 [X1] 内およびドレン入口内のドレンレベルが上昇し続けます。</p>
	<p>事前に設定された待機時間が経過すると、すぐに制御装置がパイロットバルブ [X3] を切り替えます。</p> <p>ダイヤフラム [18] の上部が排気されます。</p> <p>ダイヤフラム [18] が弁座から浮き上がり、回収容器 [X1] 内の過圧によってドレンがドレン排出器 [C] に押し込まれます。</p>
	<p>センサーチューブ [X2] 内のセンサーがドレンで覆われなくなると、制御装置がパイロットバルブ [X3] を切り替え、ダイヤフラム [18] の上部に圧力が蓄積されます。</p> <p>ダイヤフラム [18] が弁座に押し付けられ、ドレン排出口 [C] が密閉されます。</p>

3.6 銘板

ボンネットの下部には、製品の識別情報および運転パラメータが記載された銘板が設置されています。



例図

アイテム番号	説明/解説
[1]	製品名称
[2]	運転電圧
[3]	運転圧力
[4]	運転温度
[5]	IP保護等級
[6]	材料番号
[7]	メーカー
[8]	シリアル番号

詳細については、「2.4 使用される記号の説明」ページ上で9を参照してください。

3.7 設置寸法

図	説明/解説
	<p>据付の際はトップカバーの上にじゅうぶん取り付け作業の余裕を取り、LEDを見ることができ、TESTボタンを押せるようにしてください。</p>

4. 技術データ

4.1 稼働パラメータ

BEKOMAT®	Vario 20 / Vario 20 FM
周囲の相対湿度	10 ~ 80 %、ドレンの形成なし
最大運転高さ	2000 m 2187.23 yd
最小 / 最大運転圧力	0.8 ~ 16 bar (相対) 12 ~ 230 psi (ゲージ)
最低 / 最高運転温度	+1 ... 60 °C +34 ... +158 °F
Ø - 排出量	75 l/h 19.81 gal/h
最大排出量 (短時間)	75 l/h 19.81 gal/h
接続*、ドレン入口	1 x G1/2 内側 最大 最大ねじ深さ 13.5 mm (1/2 in)
接続、ドレン排出口	1 x G1/4 外側、 ホースノズル、ホース内径 8 ~ 10 mm 内側 (0.31 ~ 0.39 in) 用
媒体	オイル含有ドレン、またはオイルフリードレン
自重	0.7 kg 1.5 lbs
運転電圧	230 / 115 / ~ / 24 VAC ± 10% ; 50 ~ 60 Hz / 24 VDC ± 10% 銘板を参照
消費電力	P < 8.0 VA (W)
保護等級	IP55
過電圧カテゴリ (IEC 61010-1)	II
汚れの程度 (IEC 61010-1)	3
推奨ケーブル径	5.8 ... 8.5 mm 0.23 ... 0.33 in
推奨導体断面積(電圧供給)	0.75 ~ 2.5 mm ² AWG 14 ~ 20
推奨ケーブル切断長さ	PE= ~ 60 mm L / N: ~ 50 mm PE= ~ 2.36 in L / N: ~ 1.97 in
推奨ケーブル導体絶縁長さ	~ 6 mm ~ 0.24 in
負荷用無電位接点オンオフの接続データ	AC: 最大250 V / 1A ; DC: 最大30 V / 1A
弱い信号用無電位接点の接続データ	最小5 VDC ; 10 mA
外部テストコンタクトの接続データ	装置の側で5 VDC ; スイッチング電流 ≥ 0.5 mA

* オプションでNPTスレッド仕様も提供可能。

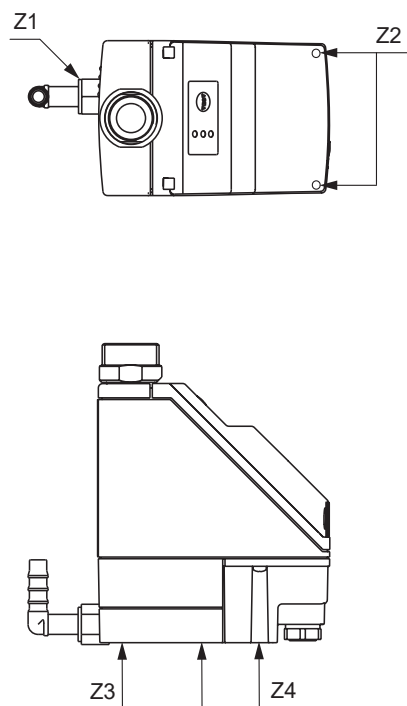
4.2 保管パラメータおよび輸送パラメータ

BEKOMAT®	Vario 20 / Vario 20 FM
最低 / 最高温度、保管および輸送	+1 ... +60 °C +34 ... +140 °F

4.3 材質

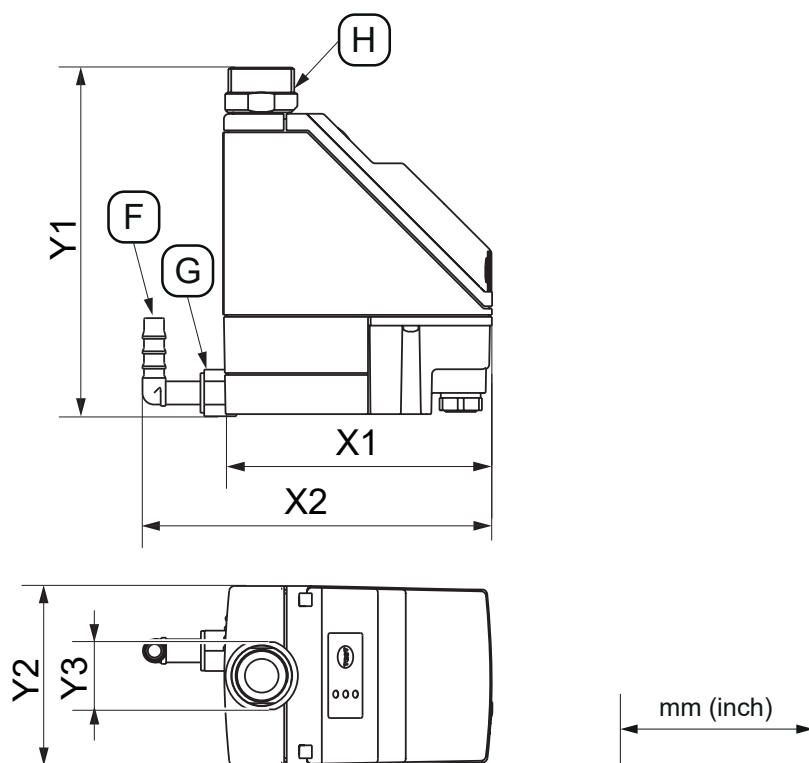
BEKOMAT®	Vario 20 / Vario 20 FM
ハウジング	アルミニウムおよびプラツチック、ガラス繊維強化
ダイヤフラム	FKM

4.4 ボルト締め付けトルク



アイテム番号	説明/解説	締め付けトルク
[Z1]	アングルスリーブ	3 Nm (2.21 ft-lb)
[Z2]	ボルト、フロントフード	1.0 Nm +0.2 Nm (0.74 ft-lb +0.15 ft-lb)
[Z3]	ボルト、ダイヤフラムシート	3.5 Nm ±0.5 Nm (2.58 ft-lb +0.37 ft-lb)
[Z4]	ボルト、電源アダプタのハウジング	1.0 Nm +0.2 Nm (0.74 ft-lb +0.15 ft-lb)

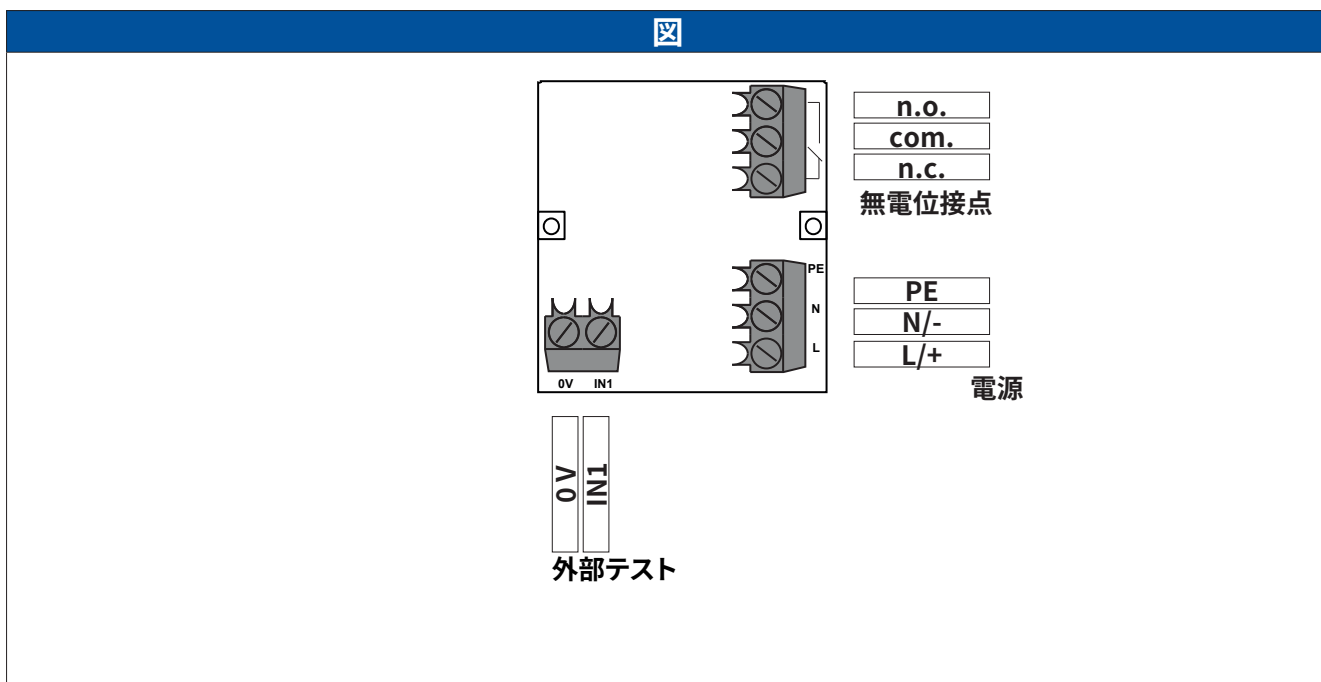
4.5 寸法



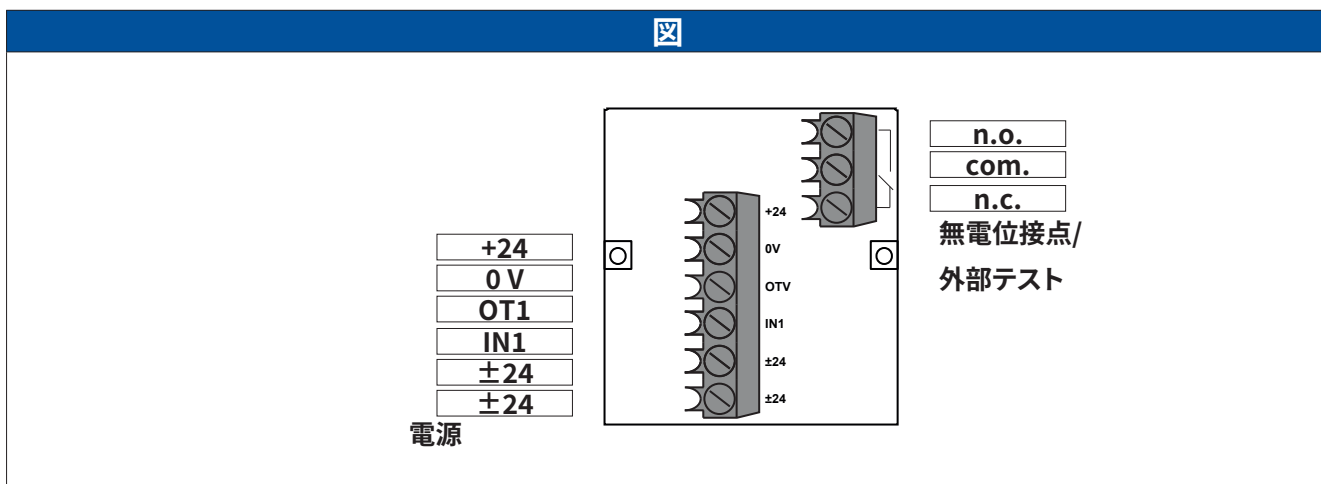
分離ユニット	BEKOMAT® Vario 20 / Vario 20 FM
[X1]	108 mm 4.25 in
[X2]	140 mm 5.51 in
[Y1]	140 mm 5.51 in
[Y2]	72 mm 2.83 in
[Y3]	SW27
[F] - 接続、ホースノズル	8 ~ 10 mm 内側 0.31 ~ 0.39 in
[G] - 接続、ドレン排出口	G1/4" NPT 1/4"
[H] - 接続、ドレン入口	G1/2" NPT 1/2"

4.6 結線図

4.6.1 AC電源アダプタボード





4.6.2 DC電源アダプタボード



5. 輸送と保管

作業員

輸送・保管専門スタッフ（ „2.3 対象グループと人員“ ページ上で 8の章を参照）

注意	不適切な輸送または保管
	<p>不適切な輸送や保管は、人身傷害の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 梱包資材を扱う作業をする際は必ず個人用保護具を使用してください。 • 梱包材、製品およびアクセサリは慎重に取り扱ってください。 • 欠陥のない適切な輸送器材、リフティング装置、スリングのみを使用してください。 • 製品の総重量用に設計された輸送器材、リフティング装置、スリングのみを使用してください。 • 許容された輸送パラメータおよび保管温度を守ってください。
注記	梱包材の取扱い
	<p>梱包材を不適切に廃棄すると、環境に害を与える可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 梱包資材は、使用国で適用される法的規制および規定に従って廃棄してください。

5.1 輸送

梱包資材を取り除いたら入荷した製品の輸送中損傷がないか点検してください。どのような破損が生じた場合でも、直ちに運送業者、メーカーまたはその代理店に報告してください。

製品の輸送方法：

- 製品は、必ず純正梱包材を用いて輸送してください。
- 梱包と製品は慎重に取り扱ってください。
- 梱包に記載の輸送重量と標識に注意する。
- 梱包と製品は輸送中ずれたりぶつからないように固定する。
- 全ての部品を適切な資材で衝撃に耐えられるよう梱包してください。

5.2 保管


製品とアクセサリの保管方法：

- „4.2 保管パラメータおよび輸送パラメータ“ ページ上で 21 の章の保管条件を守ってください。
- 密封され、乾燥した、霜の発生しない部屋に保管してください。
- 屋外での天候の影響や直射日光、熱源から保護する。
- 保管場所を転倒や振動から保護する。

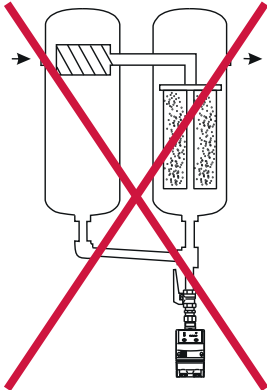
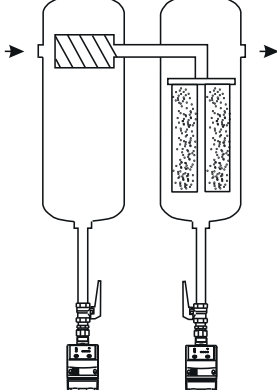
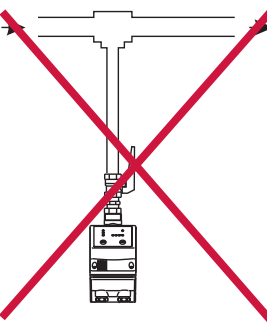
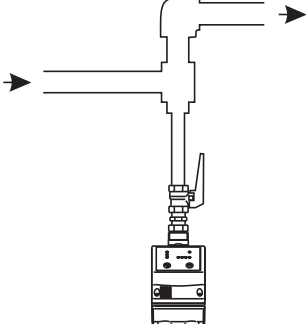
6. 取り付け

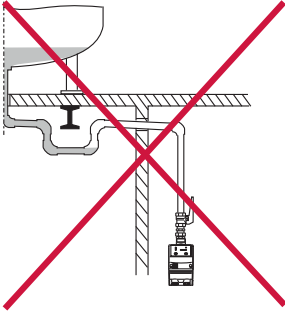
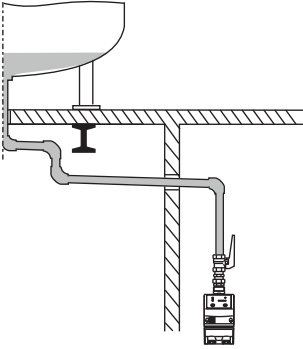
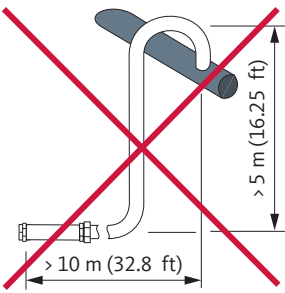
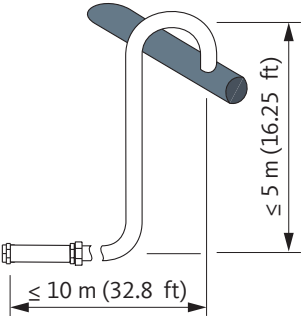
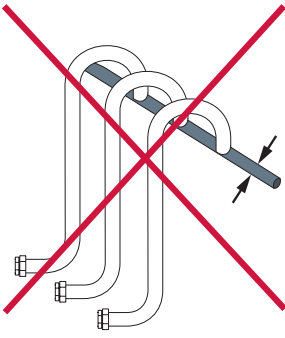
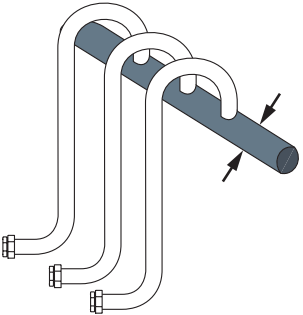
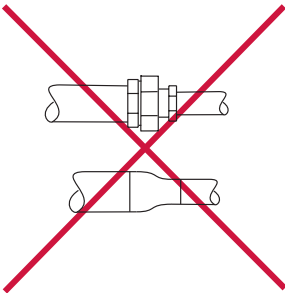
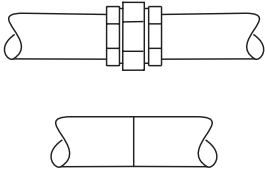
6.1 警告マーク

作業員	
圧力機器・設備専門スタッフ（ „2.3 対象グループと人員“ ページ上で 8の章を参照）	

危険	加圧された液体の急速な流出
	<p>急速または急激に流出する液体との接触、または設備部品の破裂によって、死亡の危険または重傷を負う危険が生じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業開始の前には、加圧システムの空気を抜き、不意に圧力が掛からないように固定してください。 全ての配管およびホースケーブルを機械的張力のないように取り付けてください。


6.1.1 取り付け条件

不適切	適切	説明/解説
		<p>フィルターのバイパス</p> <ul style="list-style-type: none"> ドレンが発生する箇所は全て BEKOMAT® を用いて個別に排出してください。 フィルターバイパスは作成しないでください。
		<p>加圧された配管からの排出</p> <ul style="list-style-type: none"> ガス流を迂回させて、ガス内の液体成分を排出するための衝突面を作ってください。

不適切	適切	説明/解説
		<p>配管の連続した勾配> 3 %</p> <ul style="list-style-type: none"> 供給管の設置時には勾配が連続して> 3 %となるように注意してください。 ウォーターポケットができないように注意してください。
		<p>排出管の仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> 排出管にはシャットオフバルブを使用しないでください。 BEKOMAT® は、必ずホースを用いて排出管と接続してください。 → ホースは取り付け公差、振動および熱膨張を補正します。 排出管を保管場所または輸送場所に配置しないでください。 排出管は、最大長さ 10 m (32.8 ft)、最大勾配 5 m (16.25 ft) で配置してください。 → 1メートル上昇する毎に、最低運転圧力は 0.1 bar (相対) (1.5 psi (ゲージ)) ずつ高まります。
		<p>マニホールドの設計</p> <ul style="list-style-type: none"> マニホールドの断面積は、少なくとも、接続された供給管の個々の断面積の合計に等しくなければなりません。 > 3 %の連続した勾配を備えたマニホールドを配置してください。
		<p>最小パイプ径を保ってください</p> <ul style="list-style-type: none"> 供給管と排出管の最小内径は13 mm (0.5 in) です。 (最小) パイプ径をリダクション (当てはめ部のレジャーニップル) で制限/縮小させないようにしてください。

6.2 取り付け作業

組立作業を行うには以下の前提条件が満たされており、準備作業が完了している必要があります。

前提条件		
ツール	材料	保護具
<ul style="list-style-type: none"> スパナまたはモンキーレンチ 	<ul style="list-style-type: none"> PTFE等のシーラント 供給管 排出管 ホース、内径 8 ~ 10 mm (0.31 ~ 0.39 in) 、長さ 約30 cm (1 ft) ホースクランプ 	<p>常に着用：</p> 

準備作業	
1.	加圧システムまたは対応するシステムセグメントを無圧にし、不意に加圧されないように固定してください。
2.	ドレン排出口に接続するためのホースとホースクランプを準備してください。

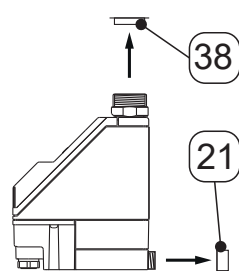
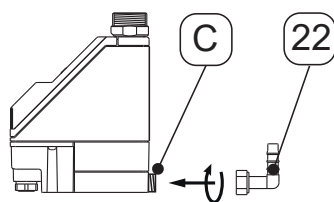
図	説明/解説
	<p>1. 栓 [38、21] を除去してください。</p>
	<p>2. 同梱のホースノズル [22] をドレン排出口 [C] に取り付けてください。</p>

図	説明/解説
<p>The diagram shows a cross-section of the BEKOMAT unit with a drain supply pipe (X4) being installed. A shut-off valve (X5) is being attached to the pipe. The pipe is being inserted into the drain inlet (A) on the side of the unit. An arrow indicates the direction of flow into the unit.</p>	<p>推奨：</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 製品のメンテナンスを容易にするために、シャットオフバルブ [X5] をドレン供給管 [X4] に取り付けてください。 4. ドレン供給管 [X4] については耐圧パイプの末端をシールし、ドレン入口 [A] にねじ付けてください。
<p>The diagram shows the next step in the installation. A hose (X6) is being attached to the drain outlet (X7) on the side of the unit. The hose is inserted into a hose nozzle (C) and secured with a hose clamp. An arrow indicates the direction of flow out of the unit.</p>	<ol style="list-style-type: none"> 5. ドレン排出口については、用意したホース [X6] をホースノズル [C] に押し込んで、ホースクランプで固定してください。 6. ホース [X6] のもう一方の端をドレン排出管 [X7] に接続してください。



仕上げ作業

1. 加圧する前にはシステムのすべての接続部の気密性を点検し、必要に応じて締めつけ直してください。

7. 電気設備


作業員

電気技術専門スタッフ（„2.3 対象グループと人員“ ページ上で 8の章を参照）

危険	電圧
	<p>電圧のかかっている部品と接触すると、致命傷や重傷を負う危険性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設置作業、メンテナンス作業および修理作業は製品やアクセサリの電源スイッチを切ってのみ行い、意図せず再起動しないよう固定してください。 設置時には、その地域で適用される全ての法的規制および規定を遵守してください。 規則通りに保護導体(アース)に接続します。
	<p>コンポーネントの取り外しによって、または製品を開くことによって、開かれた製品に水または異物が浸入するおそれがあります。このため、事故、人身傷害および物的損害、ならびに運転中の障害につながるおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品を撥水またはや湿気から保護してください。 製品は乾燥した場所でのみ開いたり、コンポーネントを取り外してください。 製品の開口部に異物を差し込まないでください。 すべての接触面および開口部には汚れおよび湿気が付かないようにしてください。
警告	湿気または異物の侵入
	<p>コンポーネントの取り外しによって、または製品を開くことによって、開かれた製品に水または異物が浸入するおそれがあります。このため、事故、人身傷害および物的損害、ならびに運転中の障害につながるおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品を撥水またはや湿気から保護してください。 製品は乾燥した場所でのみ開いたり、コンポーネントを取り外してください。 製品の開口部に異物を差し込まないでください。 すべての接触面および開口部には汚れおよび湿気が付かないようにしてください。
	<p>コンポーネントの取り外しによって、または製品を開くことによって、開かれた製品に水または異物が浸入するおそれがあります。このため、事故、人身傷害および物的損害、ならびに運転中の障害につながるおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品を撥水またはや湿気から保護してください。 製品は乾燥した場所でのみ開いたり、コンポーネントを取り外してください。 製品の開口部に異物を差し込まないでください。 すべての接触面および開口部には汚れおよび湿気が付かないようにしてください。

7.1 接続作業

接続作業を行うには以下の前提条件が満たされており、準備作業が完了している必要があります。

前提条件		
ツール	材料	保護具
<ul style="list-style-type: none"> 絶縁工具 導体末端スリーブ用クリンピングツール サイズ PZ2のプラスドライバー サイズ 2.5 mm (0.09") のマイナスインスツドライバー 	<ul style="list-style-type: none"> 3芯シールド付き接続ケーブル：電源用の3芯 3芯シールド付き接続ケーブル：無電位接点用の3芯 2芯シールド付き接続ケーブル：外部テストボタン用の2芯 導体末端スリーブ 	<p>常に着用：</p> 

準備作業

- 取り付けを完了します（„6. 取り付け“ ページ上で 25の章を参照）。

7.1.1 電圧供給接続

7.1.1.1 AC電源アダプタボード

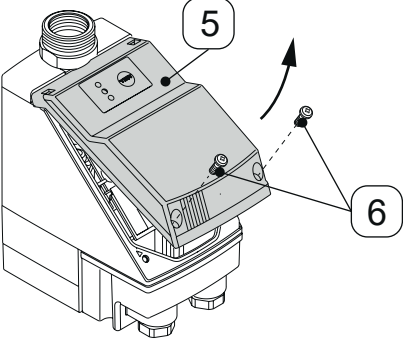
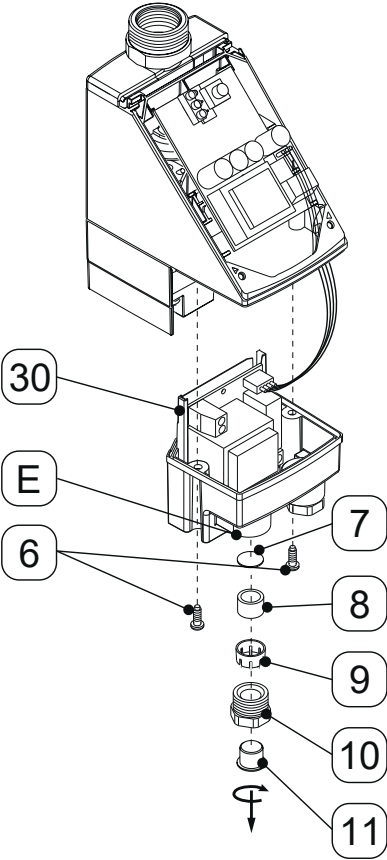
図	説明/解説
	<ol style="list-style-type: none"> 1. トップカバー [5] のボルト [6] を緩めて外し、トップカバー [5] を持ち上げてください。
	<ol style="list-style-type: none"> 2. ケーブルグランド左 [E] のコンポーネント [7、8、9、10、11] を回して取り外します。 3. ボルト2本 [6] を電源アダプタのハウジング [30] から緩め、電源アダプタのハウジング [30] を取り外します。

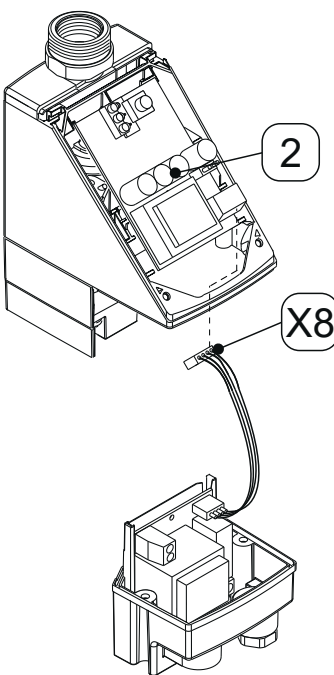
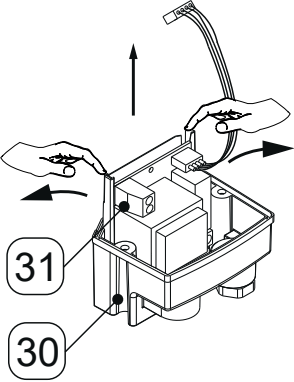
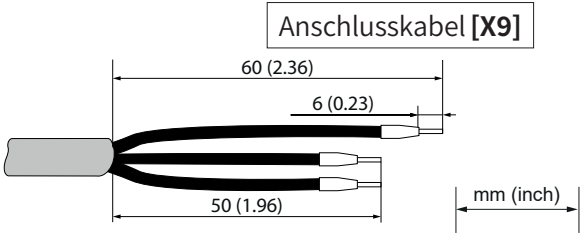
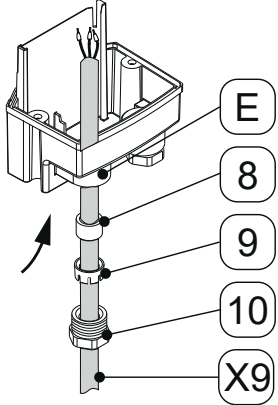
図	説明/解説
	<p>4. コネクタ [X8] を制御ボード [2] から引き抜いてください。</p>
	<p>5. 指を使って電源アダプタのハウジング [30] のレールを押して若干ずらし、電源アダプタボード [31] を上へ取り外します。</p>
 <p style="text-align: center;">Anschlusskabel [X9]</p> <p style="text-align: center;">60 (2.36) 6 (0.23) 50 (1.96)</p> <p style="text-align: right;">mm (inch)</p>	<p>6. 接続ケーブル [X9] を用意してください。</p>
	<p>7. ケーブルグランドのコンポーネント [8、9、10] を電圧供給のケーブル [X9] 上に差し込み左側のケーブルグランド [E] に通してください。</p>

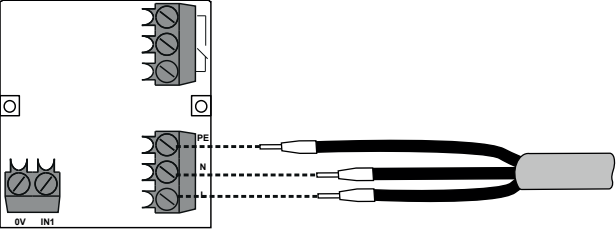
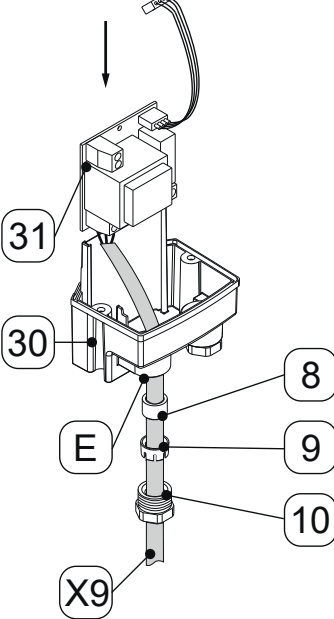
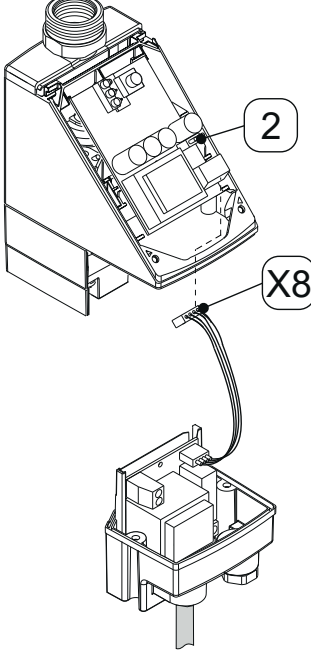
図	説明/解説
	<p>8. 接続ケーブル [X9] を結線図 „4.6 結線図“ ページ上で 23 に従って接続してください。</p>
	<p>9. 電源アダプタボード [31] を電源アダプタのハウジング [30] に元通り取り付けます。</p> <p>10. この際、接続ケーブル [X9] を引き締め、カウンターナット [10] をコンポーネント [8、9] とともに再び ケーブルグランド左 [E] にねじ込んでください。</p>
	<p>11. コネクタ [X8] を制御ボード [2] に差し込んでください。</p>

図	説明/解説
<p>The diagram shows a perspective view of the power adapter housing [30] being lowered onto the device. Below it, a detailed view shows the housing [30] being secured to the device's base with two bolts [6].</p>	<p>12. 電源アダプタのハウジング [30] をボルト [6] で固定してください。</p>
<p>The diagram illustrates the correct and incorrect ways to secure the top cover [5]. The top row shows the cover [5] being correctly placed and secured with bolts [6]. The bottom row shows two views: the left one shows the cover [5] being correctly secured with bolts [6], and the right one shows an incorrect installation method where the cover is not properly aligned, marked with a large red 'X'.</p>	<p>13. 図のようにトップカバー [5] を載せてボルト [6] で固定します。</p>

7.1.1.2 DC電源アダプタボード

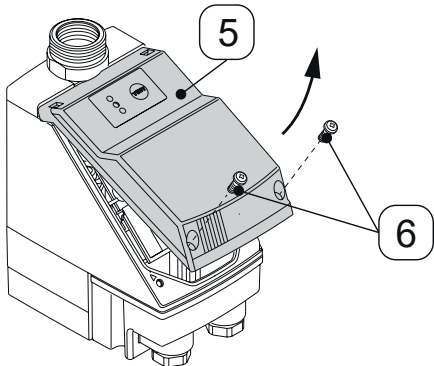
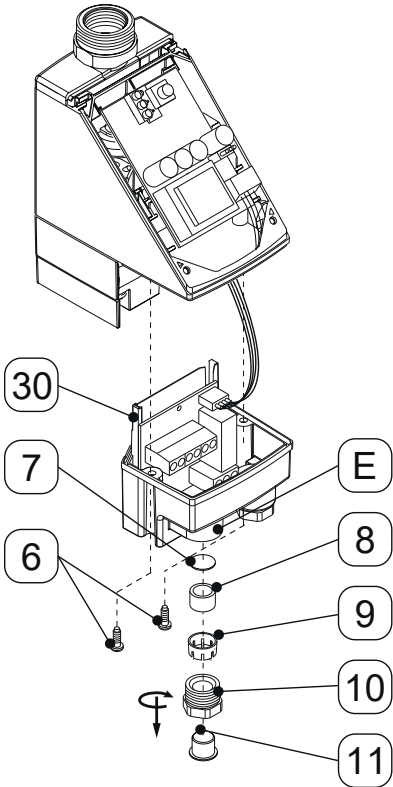
図	説明/解説
	<ol style="list-style-type: none"> 1. トップカバー [5] のボルト [6] を緩め、トップカバー [5] を取り外します。
	<ol style="list-style-type: none"> 2. ケーブルグランド 左 [E] のコンポーネント [7、8、9、10、11] を回して取り外します。 3. ボルト [6] を電源アダプタのハウジング [30] から緩め、電源アダプタのハウジング [30] を取り外します。

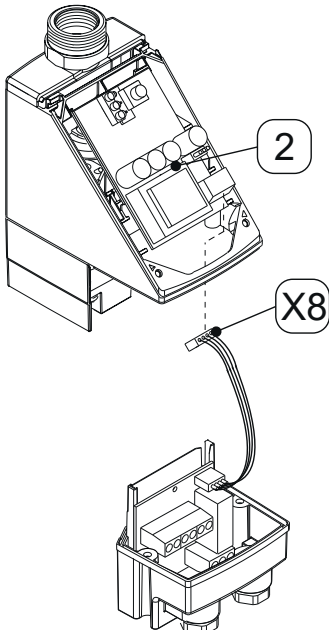
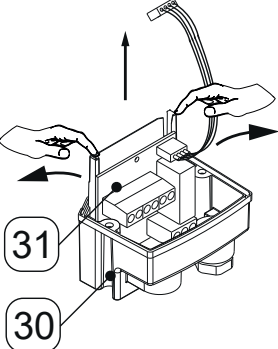
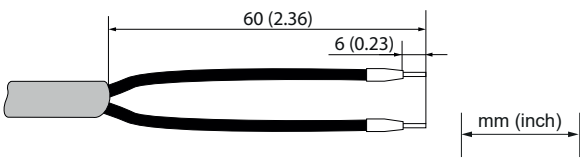
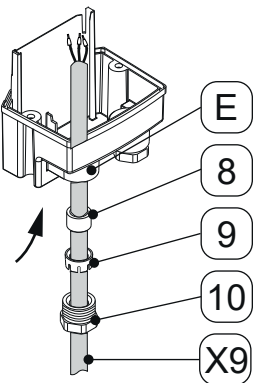
図	説明/解説
	<p>4. コネクタ [X8] を制御ボード [2] から引き抜いてください。</p>
	<p>5. 指を使って電源アダプタのハウジング [30] のレールを押して若干ずらし、電源アダプタボード [31] を上へ取り外します。</p>
<p style="text-align: center;">接続ケーブル [X9]</p> 	<p>6. 接続ケーブル [X9] を用意してください。</p>
	<p>7. ケーブルグランドのコンポーネント [8、9、10] を電圧供給のケーブル [X9] 上に差し込み左側のケーブルグランド [E] に通してください。</p>

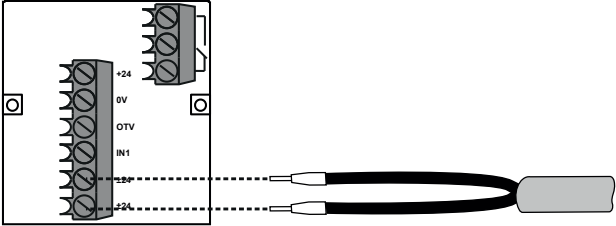

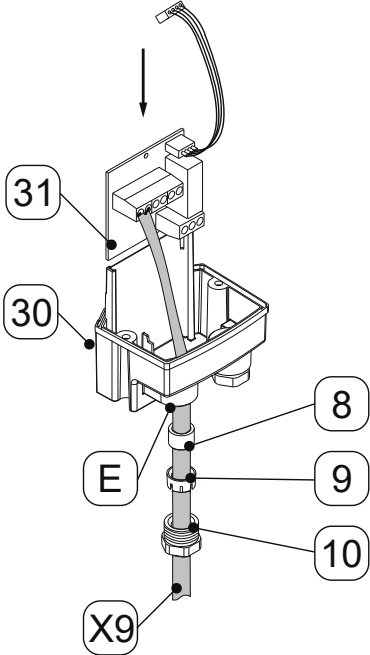
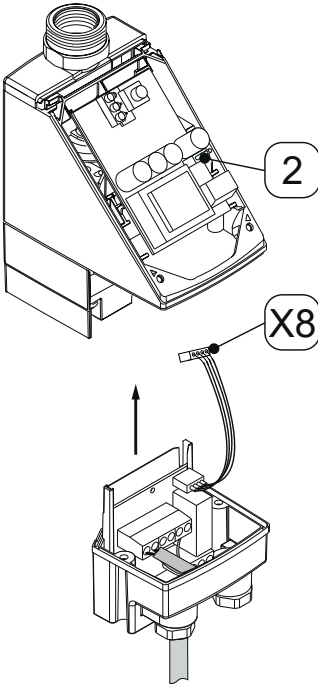
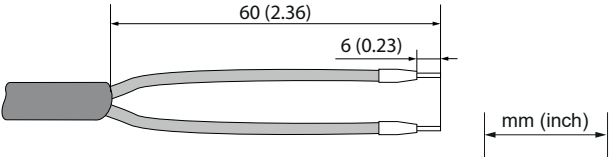

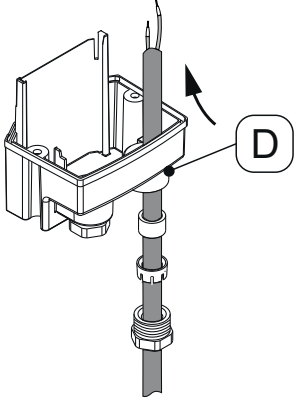
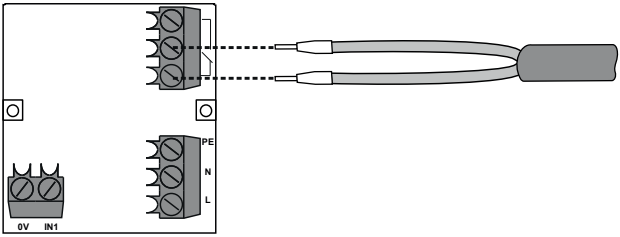
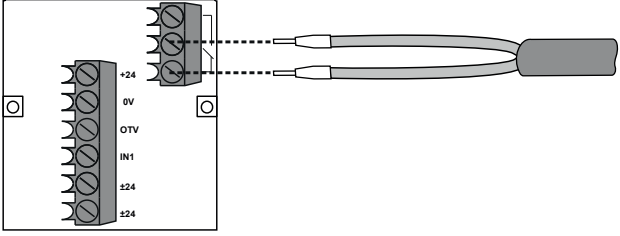
図	説明/解説
	<p>8. 接続ケーブル [X9] を結線図 „4.6 結線図“ ページ上で 23 に従って接続してください。</p> <p> 24 VDCで運用する場合電圧供給と BEKOMAT® の電子回路は電氣的に絶縁されません。ハウジングは回路のアースと接続されています。</p>
	<p>9. 電源アダプタボード [31] を電源アダプタのハウジング [30] に元通り取り付けます。</p> <p>10. この際、接続ケーブル [X9] を引き締め、カウンターナット [10] をコンポーネント [8、9] とともに再び ケーブルグランド左 [E] にねじ込んでください。</p>
	<p>11. コネクタ [X8] を制御ボード [2] に差し込んでください。</p>

図	説明/解説
<p>The diagram shows two views of the power adapter housing [30] being positioned over the bottom of the device. Two bolts [6] are shown being inserted from the bottom to secure the housing. Dashed lines indicate the alignment of the bolts with the housing and the device's base.</p>	<p>12. 電源アダプタのハウジング [30] を下からボルト [6] で固定してください。</p>
<p>This section contains four diagrams illustrating the correct and incorrect ways to install the top cover [5]. - Top-left: Shows the top cover [5] being placed onto the device. - Top-right: Shows the top cover [5] being pushed down onto the device, with an arrow indicating the direction of movement. - Bottom-left: Shows the top cover [5] fully seated on the device, with a bolt [6] being used to secure it from the bottom. - Bottom-right: Shows the top cover [5] not fully seated, with a large red 'X' over the entire diagram to indicate this is an incorrect installation method.</p>	<p>13. 図のようにトップカバー [5] を載せてボルト [6] で固定します。</p>

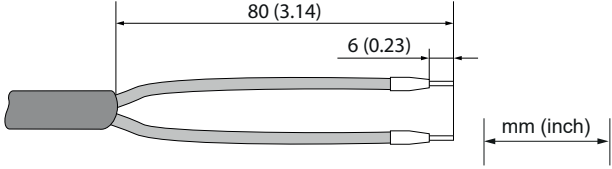

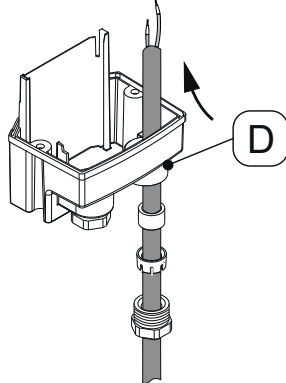
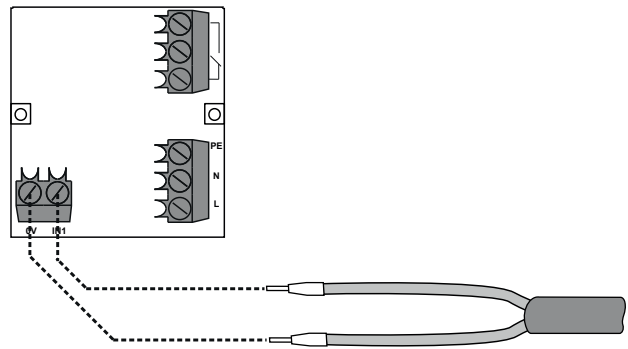
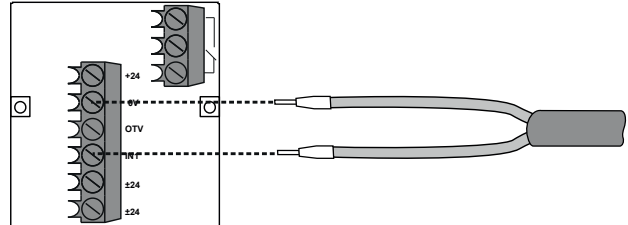
7.1.2 無電荷状態の接点接続

製品の電源アダプタボードには無電位接点があります。ここからエラーメッセージをリモートモニターに表示させることができます。

図	説明/解説
	<p>1. 無電位接点の接続ケーブルを準備します（用途に応じる）。</p> <p> 無電位接点の他に外部TESTボタンも接続する場合は、接続のために（用途に応じて）4/5線ケーブルを使用する必要があります。</p>
	<p>2. 接続には右ケーブルグランド [D] をご使用ください。</p>
	<p>AC電源アダプタボード</p> <p>3. 結線図 „4.6 結線図“ ページ上で 23 に従って、無電位接点の接続ケーブルを接続してください。</p>
	<p>DC電源アダプタボード</p> <p>4. 結線図 „4.6 結線図“ ページ上で 23 に従って、無電位接点の接続ケーブルを接続してください。</p>



7.1.3 外部TESTボタンの接続

製品には、外部TESTボタンを接続することができます。このボタンでドレンを遠隔操作して排出させることができます。外部接点が閉じると、ソレノイドバルブはTESTボタンを操作したのと同様にトップカバーで開き、製品がドレンを排出します。

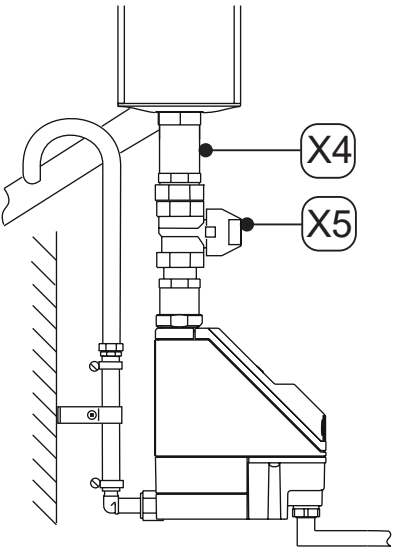
☒	説明/解説
	<p>1. 外部TESTボタンの接続ケーブルを（用途に応じて）準備します。</p> <p> 外部TESTボタン以外にも無電位接点を接続する場合は、接続のために（用途に応じて）4/5線ケーブルを使用する必要があります。</p>
	<p>2. 接続には右ケーブルグランド [D] をご使用ください。</p>
	<p>AC電源アダプタボード</p> <p>3. 結線図 „4.6 結線図“ ページ上で 23 に従って、無電位接点の接続ケーブルを接続してください。</p>
	<p>DC電源アダプタボード</p> <p>4. 結線図 „4.6 結線図“ ページ上で 23 に従って、無電位接点の接続ケーブルを接続してください。</p>

8. 試運転

8.1 警告マーク


作業員	
圧力機器・設備専門スタッフおよび電気技術専門スタッフ („2.3 対象グループと人員“ ページ上で 8の章を参照)	
危険	加圧された液体の急速な流出
	急速または急激に流出する液体との接触、または設備部品の破裂によって、死亡の危険または重傷を負う危険が生じます。 <ul style="list-style-type: none"> • 加圧する前にはシステムのすべての接続部の気密性を点検し、必要に応じて締めつけ直してください。 • システムに圧力がかかり、ゆっくりと加圧されます。
危険	電圧
	電圧のかかっている部品と接触すると、致命傷や重傷、ならびに機能障害、運転障害または材料破損の原因となる危険が生じます。 <ul style="list-style-type: none"> • 製品とアクセサリは、カバー、電子機器ハウジング、または制御キャビネットが完全に閉じた状態でのみ運転してください。 • 試運転の前には、その地域で適用される全ての法的規制および規定に従って、製品とアクセサリを点検してください。

8.2 立ち上げ作業

図	説明/解説
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源供給を設営します。 2. システムセグメントがゆっくりと加圧されます (例: 推奨されているシャットオフバルブ [X5] をドレン供給管 [X4] 内でゆっくりと開きます)。 3. 機能テストを実施してください („10.3.2 機能テスト“ ページ上で 49の章を参照)。

9. 運転

9.1 警告マーク

作業員	
オペレータ („2.3 対象グループと人員“ ページ上で 8の章を参照)	
危険	電圧
	電圧のかかっている部品と接触すると、致命傷や重傷を負う危険性があります。 ・ 製品とアクセサリは、カバー、電子機器ハウジング、または制御キャビネットが完全に閉じた状態でのみ運転してください。

9.2 運転状態

9.2.1 BEKOMAT® 20 Vario

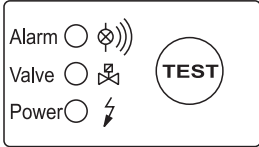
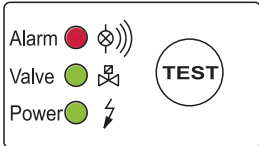
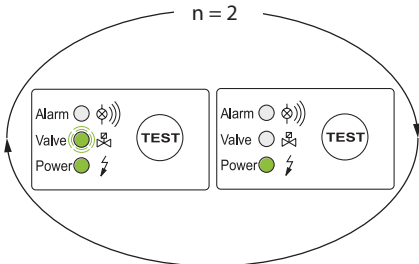
図	説明/解説
	無通電状態 <ul style="list-style-type: none"> 全LEDがオフ
	スイッチオン/電源オンセルフテスト <ul style="list-style-type: none"> すべてのLEDが1秒点灯する
	電源オンセルフテスト成功 (2回反復) <ul style="list-style-type: none"> 赤アラームLEDはオフ ソレノイドバルブの開閉周期動作中に緑バルブLEDが点灯します。 緑電源LEDはオン ソレノイドバルブが開閉を開始する → 通常操作に切り替わる

図	説明/解説
	<p>電源オンセルフテスト失敗（20回反復）</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤アラームLEDはオン ソレノイドバルブの開閉周期動作中に緑バルブLEDが点灯します。 緑電源LEDはオン ソレノイドバルブが開閉を開始する <p>→ フェイルセーフモードに切り替わる（持続ループ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ソレノイドバルブは1秒に1回のリズムで開閉します
	<p>スタンバイモード（通常運転）</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤アラームLEDはオフ 緑バルブLEDはオフ 緑電源LEDはオン
	<p>排出工程（TESTボタンを短く押す）</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤アラームLEDはオフ 排出工程中に緑バルブLEDは点灯する 緑電源LEDはオン
	<p>初期アラーム（TESTボタンを1～5分間押します）</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤アラームLEDは点滅する 緑バルブLEDはオン 緑電源LEDはオン
	<p>アラーム（TESTボタンを5分以上押す）</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤アラームLEDはオン 緑バルブLEDはオフ 緑電源LEDはオン
	<p>アラームモード（ドレン排出口に障害発生）</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤アラームLEDは点滅する 緑電源LEDは点灯する ソレノイドバルブの開閉周期動作すると緑バルブLEDが点灯します ソレノイドバルブは4分毎に開閉します <p>→ ドレン排出口が開いているとき通常操業に切り替わります</p>

9.2.2 BEKOMAT® 20 Vario FM

☒	説明/解説
	<p>無通電状態</p> <ul style="list-style-type: none"> 全てのLEDがオフになっています。
	<p>スタンバイモード（通常運転）</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑色の電源LEDが点灯します。 4つの緑色の寿命LEDがすべて点灯します。100%～76%の寿命が利用可能です。 75%～51%では、3つのLEDのみが点灯します。 50%～26%では、2つのLEDのみが点灯します。 25%～1%では、1つのLEDのみが点灯します。
	<p>フィルタの交換</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑色の電源LEDが点灯します。 赤色のChange Element-LEDが点灯します。
	<p>機能確認用LED</p> <ul style="list-style-type: none"> MODEボタンを長押ししてください。 <ul style="list-style-type: none"> → 緑色の電源LEDが点灯します。 → 全ての緑色の寿命LEDが点滅します。 → Change Elementが点滅します。
	<p>排出工程（TESTボタンを短く押す）</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤色のアラームLEDは消灯しています。 排出工程中は、緑色のバルブLEDが点灯します。 緑色の電源LEDがオンになっています。
	<p>運転電圧/運転機能</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑色の電源LEDが点灯します。 <p>運転電圧、バルブ機能およびアラームは、左側のフィールド「Drain」に表示されます。</p>

運転中のエラー表示について、詳しくは „15. 解決策“ ページ上で 57 を参照してください。

9.2.2.1 フィルタ管理機能のリセット

フィルタの交換後は、フィルタ管理機能のリセットする必要があります。リセットするためには、フィルター交換後に以下の手順を実施してください。




図	説明/解説
	<p>リセット機能の起動</p> <ul style="list-style-type: none"> リセット機構を起動するためには、TESTボタンとMODEボタンを同時に押してください。 <p>最初に押されたボタンの動作が始まります。2つ目のボタンも押されると、最初に発動した動作は停止します。</p>
	<p>リセット機構</p> <ul style="list-style-type: none"> 両方のボタンを10秒以上長押ししてください。 → 全ての寿命LEDが点滅し始めます。BEKOMAT®の標準的な機能はバックグラウンドで有効になっています。ボタンが押されなければ、機能はこの状態のままになります。 両方のボタンを離してください。
	<p>リセット機構の中断</p> <ul style="list-style-type: none"> TESTボタンを短く押します。 → リセット機構は直ちに中断されます。 どのボタンも押さないでください。 → リセット機構は60秒後に自動的に中断されます。
	<p>フィルタ寿命を初期値にリセットする</p> <ul style="list-style-type: none"> MODEボタンを押してください。 → フィルタ寿命のカウンタが初期値にリセットされます。 → BEKOMAT® が通常の運転状態に戻ります。

10. メンテナンス

10.1 警告マーク

作業員

サービス専門スタッフ („2.3 対象グループと人員“ ページ上で 8の章を参照)

危険	加圧された液体の急速な流出
	<p>急速または急激に流出する液体との接触、または設備部品の破裂によって、死亡の危険または重傷を負う危険が生じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業開始の前には、加圧システムの空気を抜き、不意に圧力が掛からないように固定してください。
危険	電圧
	<p>電圧のかかっている部品と接触すると、致命傷や重傷を負う危険性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> メンテナンス作業および修理作業は、製品の電源スイッチを切つてのみ行い、意図せず再起動しないよう固定してください。 設置時には、その地域で適用される全ての法的規制および規定を遵守してください。
警告	湿気または異物の侵入
	<p>コンポーネントの取り外しによって、または製品を開くことによって、開かれた製品に水または異物が浸入するおそれがあります。このため、事故、人身傷害および物的損害、ならびに運転中の障害につながるおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品を撥水または湿気から保護してください。 製品は乾燥した場所でのみ開いたり、コンポーネントを取り外してください。 製品の開口部に異物を差し込まないでください。 すべての接触面および開口部には汚れおよび湿気が付かないようにしてください。 洗浄に高圧洗浄機やスチーム洗浄機を使用しないでください。


10.2 メンテナンススケジュール

保守	間隔
消耗部品の交換	8760 操業時間後または100 万回のスイッチング後に*; 少なくとも1年に1度
清掃	年一回
目視検査	毎週
リークテスト	製品の組立作業、保守・メンテナンス作業終了時

* 7 bar (相対) (101.5 psi (ゲージ)) および中立のドレンに関する

10.3 メンテナンス作業

組立作業を行うには以下の前提条件が満たされており、準備作業が完了している必要があります。

前提条件		
ツール	材料	保護具
<ul style="list-style-type: none"> • スクリュードライバー - マイナス サイズ 2.5 mm (0.09 in) • スパナまたはモンキーレンチ 	<ul style="list-style-type: none"> • シーラント • Oリングの潤滑に適した潤滑剤 • 中性洗剤 • 綿布または使い捨ての布 	常に着用： 

準備作業	
1.	運転停止措置が完了しています („12. 使用停止措置“ ページ上で 52を参照)。
2.	取り外しを完了します („13. 取り外し“ ページ上で 53の章を参照)。

10.3.1 消耗部品の交換

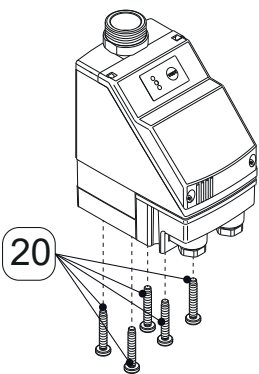
図	説明/解説
	1. ボルト [20] を緩めます。

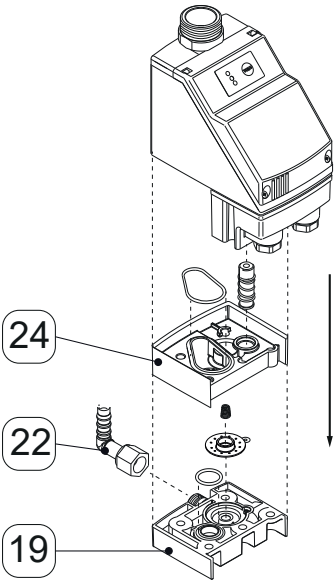
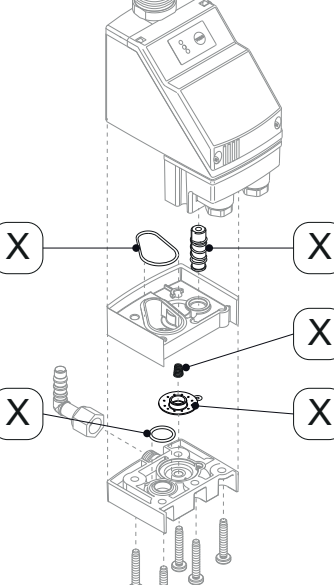
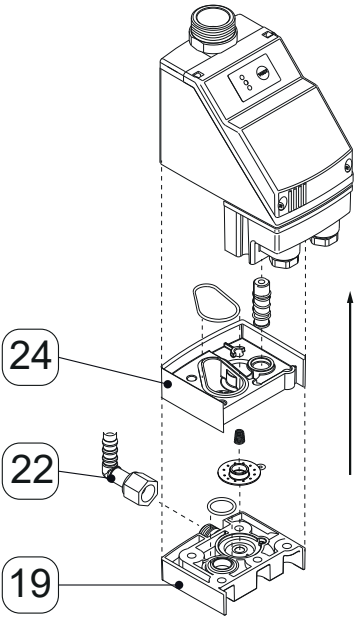
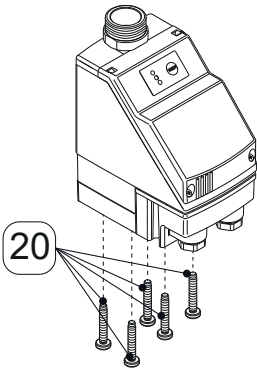
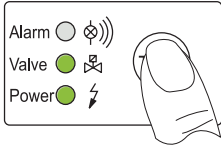
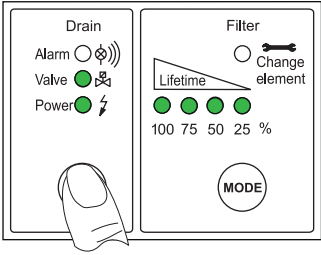
図	説明/解説
	<ol style="list-style-type: none"> 2. アングルスリーブ [22] を取り外します。 3. ダイアフラムシート [19] とダイアフラムカバー [24] を慎重に取り外します。
	<ol style="list-style-type: none"> 4. 消耗部品セットの全てのコンポーネント [X] を交換してください。 5. 消耗部品セットのOリングにグリースを着ける。

図	説明/解説
	<p>6. ダイアフラムシート [19] とダイアフラムカバー [24] を図のように組み込んでください。</p> <p>7. アングルスリーブ [22] を取り付けてください。</p>
	<p>8. ボルト [20] を締め付けて下さい。</p>

仕上げ作業

1. 製品を取り付けてください („6. 取り付け“ ページ上で 25の章を参照)。
2. 製品を運転してください („8. 試運転“ ページ上で 40の章を参照)。

10.3.2 機能テスト

☒	説明/解説
 <p>Alarm ○ (bell icon) Valve ● (valve icon) Power ● (lightning bolt icon)</p>	<p>TESTボタンを2～5秒間押してください。 → バルブが開き、ドレンが排出されます</p>
 <p>Drain Alarm ○ (bell icon) Valve ● (valve icon) Power ● (lightning bolt icon)</p> <p>Filter ○ Change element</p> <p>Lifetime ● ● ● ● 100 75 50 25 %</p> <p>MODE</p>	<p>TESTボタンを2～5秒間押してください。 → 緑色の電源LEDが点灯します → 排出工程中は、緑色のバルブLEDが点灯します。 → バルブが開き、ドレンが排出されます</p>



10.3.3 目視検査

製品の目視検査では、すべてのコンポーネントの機械的損傷や腐食を点検してください。損傷したコンポーネントは直ちに交換してください。

10.3.4 リークテスト

リークテストは非破壊検査法に属し、真空システムおよび過圧システム内の気密性を証明するために行われます。リークテストを実施するには、さまざまな方法があります。メーカーはテスト方法の選択について一切の推奨を行いません。テスト方法の選択と決定は、加圧システムの運用企業の責任であり、適用される規格および指令（例：DIN EN 1779）に従って実施する必要があります。

10.3.5 清掃

注意	不適切な洗浄剤の使用による人身傷害
	<p>不適切な洗浄剤の使用により、軽傷や健康被害を負う危険性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 濡れた状態では決して清掃しないでください。 • 洗浄に高圧洗浄機を使用しないでください。 • 外側のコーティング（例：標識、銘板、腐食防止層など）を損傷するおそれのある、研磨剤の入った侵攻性の洗浄剤または溶剤は使用しないでください。 • 先のとがった物、または硬い物を清掃に使用しないでください。 • 外部の清掃には、霧吹きで湿らせた静電気防止用布を使用してください。 • 判読不可能になった製品のマーキング（絵文字、マーキング）は直ちに交換してください。 • 個人用保護具を使用してください。 • メーカーの指定に適合した洗浄剤を使用してください。
注記	現地の衛生規則に注意
	<p>記載されている清掃に関する注意事項に加えて、必要に応じて、その地域で適用される衛生規則または会社独自の衛生規則を遵守する必要があります。</p>

準備作業

1.	使用廃止が完了します。
----	-------------

清掃作業

1.	中性洗剤を綿布、または使い捨ての布に湿る程度（濡らさない程度）にスプレーしてください。
2.	湿らせた布で製品の表面を拭いてください。
3.	製品を運転してください。

仕上げ作業

1.	製品を組み立ててください。
2.	製品を取り付けてください（„6. 取り付け“ ページ上で 25を参照）。
3.	製品を運転してください（„8. 試運転“ ページ上で 40を参照）。

11. 消耗品、アクセサリおよび交換部品

11.1 注文情報

お問い合わせまたはご注文の際に、メーカーのサービス部門では以下の情報が必要となります：

- シリアル番号（銘板を参照）
- アクセサリまたは交換部品の材料番号と名称
- 同梱のアクセサリまたは交換部品の必要数

担当メーカーのサービス部門の連絡先は „1.1 連絡先“ ページ上で 5 の章に記載されています。

11.2 アクセサリ

説明	材料番号
随管ヒーター 230 VAC	4041657
排出セット	2000045



11.3 交換部品およびシールセット

説明	材料番号
消耗部品セット	4003701
ダイヤフラムシート	4003700
5 x ダイアフラム	2000496
3 x アングルスリーブ	4003702
制御ボード BEKOMAT® 20 Vario	4047964
制御ボード BEKOMAT® 20 Vario FM	4060203
電源アダプタボード 230 VAC	2001501
電源アダプタボード 115 VAC	2001502
電源アダプタボード 24 VAC	2001504
電源アダプタボード 24 VDC	2001915

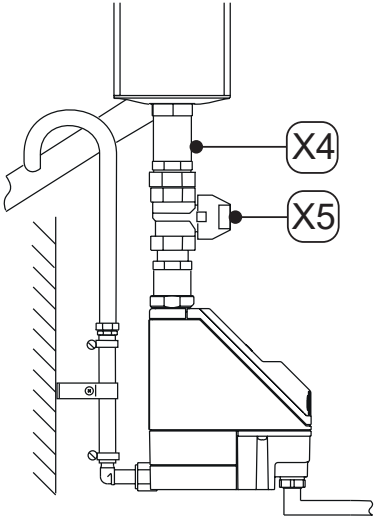
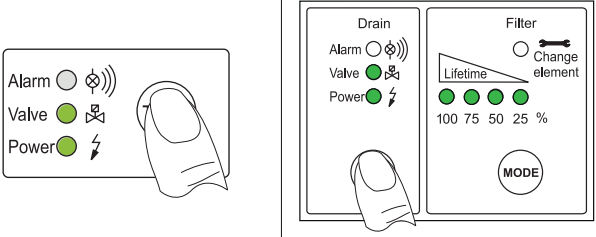
12. 使用停止措置

12.1 警告マーク

作業員	
サービス専門スタッフ („2.3 対象グループと人員“ ページ上で 8の章を参照)	

<p>危険</p> 	<p>加圧された液体の急速な流出</p> <p>急速または急激に流出する液体との接触、または設備部品の破裂によって、死亡の危険または重傷を負う危険が生じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業開始の前には、作業場所の周囲に安全領域を設けてください。 作業開始の前には、加圧システムの空気を抜き、不意に圧力が掛からないように固定してください。
<p>危険</p> 	<p>電圧</p> <p>電圧のかかっている部品と接触すると、致命傷や重傷、ならびに機能障害、運転障害または材料破損の原因となる危険が生じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業開始の前には、作業場所の周囲に安全領域を設けてください。 作業開始の前には、製品とアクセサリの電源スイッチを切り、不意に再びスイッチがオンにならないように固定してください。

12.2 運転停止措置のための作業



図	説明/解説
	<ol style="list-style-type: none"> ドレン供給管 [X4] を介したドレンフィードを遮断します (例：推奨されているシャットオフバルブ [X5] を閉じる)。
	<ol style="list-style-type: none"> TESTボタンを短く数回押してください。 → BEKOMAT® 内の圧力が低減されます → BEKOMAT® 内に残ったドレンが排出されます BEKOMAT® を電圧供給から切り離し、電源スイッチを切ってください。

13. 取り外し

13.1 警告マーク


作業員

サービス専門スタッフ („2.3 対象グループと人員“ ページ上で 8の章を参照)

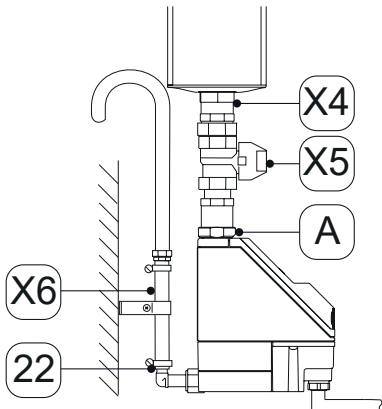
<p>危険</p>	<p>加圧された液体の急速な流出</p>
	<p>急速または急激に流出する液体との接触、または設備部品の破裂によって、死亡の危険または重傷を負う危険が生じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業開始の前には、作業場所の周囲に安全領域を設けてください。 作業開始の前には、加圧システムの空気を抜き、不意に圧力が掛からないように固定してください。
<p>危険</p>	<p>電圧</p>
	<p>電圧のかかっている部品と接触すると、致命傷や重傷、ならびに機能障害、運転障害または材料破損の原因となる危険が生じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業開始の前には、作業場所の周囲に安全領域を設けてください。 作業開始の前には、製品とアクセサリの電源スイッチを切り、不意に再びスイッチがオンにならないように固定してください。

13.2 取り外し作業

取り外し作業を行うには以下の前提条件が満たされており、準備作業が完了している必要があります。

前提条件		
ツール	材料	保護具
<ul style="list-style-type: none"> スパナまたはモンキーレンチ 	<ul style="list-style-type: none"> 資材は必要ありません 	常に着用： 



準備作業	
1.	運転停止措置が完了しています（„12. 使用停止措置“ ページ上で 52 の章を参照）。
2.	加圧システムまたは対応するシステムセグメントを無圧にし、不意に加圧されないように固定してください。

図	説明/解説
	<ol style="list-style-type: none"> ホース [X6] を アングルスリーブ [22] から緩めてください。 ドレン供給管 [X4] および推奨されているシャットオフバルブ [X5] をドレン入口 [A] から緩め、取り外してください。 全ての電気接続部を取り外してください。

14. 廃棄処分

製品とアクセサリは、耐用年数が経過した時点で、例えば専門業者に依頼するなどして適切に廃棄する必要があります。例えば、ガラス、プラスチックや一部の化学製品は、大部分が修復可能、リサイクル可能であり再使用することができるものです。

14.1 警告マーク

注記	不適切な廃棄処分
	<p>部品、コンポーネント、運転資材、補助資材および洗浄剤を不適切な仕方での廃棄処分すると、環境汚染の原因になるおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 全ての部材、コンポーネント、運転資材、補助資材および洗浄媒体は、その地域で適用される法的規制および規定に従って適切に廃棄してください。 • 電気部品および電子部品は、専門の廃棄処理業者に任せて廃棄するか、またはメーカーに返送してください。 • 廃棄に関して疑問がある場合は、その地域の専門の廃棄処理業者にご相談ください。
情報	電気製品および電子製品の廃棄処分
	<p>電気電子製品(EEE)には電気電子製品廃棄物(WEEE)を適切に処分しないと人間の健康や環境に危険が及んだり有害になったりする材料やコンポーネント、物質が含まれます。</p> <p>電気製品および電子製品には、バツ印付きゴミ箱のマークが標示されています。バツ印付きのゴミ箱は、電気製品および電子製品が分別回収されること、および、家庭ゴミとは一緒に廃棄処分されないことを意味しています。</p> <p>電気製品および電子製品のリサイクルに関する、その地域で適用される法的規制および規定の詳細については、地域の専門の廃棄処分会社または担当の地方自治体へお問い合わせください。</p>

14.2 運転資材および補助資材の廃棄処分

運転資材/補助資材	EU廃棄物コード
油またはその他の危険物質により汚染された吸着材、フィルタ材、拭き取り布および保護服	15 02 02
15 02 02に該当するものを除く、吸収材、フィルタ材、拭き取り布および保護服	15 02 03
梱包材 - 紙および段ボール	15 01 01
梱包材 - プラスチック	15 01 02
廃油 - 無機	13 02 05
廃油 - 合成	13 02 06

14.3 コンポーネントの廃棄処分

廃棄処分の前に、以下の前提条件が満たされていること：

前提条件	
1.	製品とアクセサリは運転停止され、取り外されている。
2.	製品とアクセサリは清掃が済み、残留媒体がない状態になっている。




コンポーネント	EU廃棄物コード
20 01 21、20 01 23、20 01 35に該当するもの以外の電気機器および電子機器	20 01 36
プラスチック	20 01 39
金属	20 01 40

15. 解決策

図	説明/解説	障害の解決
 <p>Alarm ○ φ))) Valve ○ 𠄎 Power ○ ⚡</p>	<p>LEDが点灯しない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 銘板から運転電圧を読み取り、調節する。 • 電源アダプタボードのターミナル（L、N PE）に電圧がかかっているかどうかを確認する。 • 電源アダプタボードと制御ボードをつなぐコネクタ接続を点検する。
 <p>Alarm ● φ))) Valve ● 𠄎 Power ● ⚡</p>	<p>全てのLEDが常時点灯している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 機器を運転電圧から切り離し、>5秒が経過した後に再びスイッチを入れる。 • アダプタボードが損傷していないかどうか、点検する。
 <p>Alarm ● φ))) Valve ● 𠄎 Power ● ⚡</p>	<p>TESTボタンを操作してもドレンが排出されない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 供給管と排出管を確認する。 • 消耗部品を交換する。 • バルブの動作音が聞こえるかどうかを確認するため、TESTボタンを数回押す。 • 制御ボード上のケーブルクランプのコネクタ接続を点検する。
 <p>Alarm ● φ))) Valve ● 𠄎 Power ● ⚡</p>	<p>TESTボタンを押している場合にのみ、ドレンが排出される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • >3%の勾配を備えたマニホールドを配置する。 • センサーチューブを清掃する。 • 必要な最低圧力に達しているかどうかを確認する。
 <p>Alarm ● φ))) Valve ● 𠄎 Power ● ⚡</p>	<p>装置が常時排気し続ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • バルブユニットを完全に清掃する。 • 消耗部品を交換する。 • センサーチューブを清掃する。

16. 添付書類

16.1 証明書および適合宣言

記号	説明/解説
	<p>CEマーク</p> <p>CE標識は、本製品がそれに適用される全てのEU指令の要求事項に準拠しており、その製造が健康関連および安全関連の要求事項を満たしていることを標示するためのものです。本製品を欧州市場で販売することができます。</p>
	<p>WEEEマーク</p> <p>十字の印付きのゴミ箱は、寿命が尽きた電気製品または電子製品を未分別の家庭ゴミと一緒に廃棄処分してはいけないということを標示しています。廃品回収は電気電子廃棄物の回収所に無償で出せるうえ、場合によっては製品リサイクル用の引き取り施設も利用できます。こうした回収所のアドレスについては、自治体の管理部門にお問い合わせください。</p>
	<p>UKCAマーク</p> <p>UKCAマークは、英国に上市された製品が要求事項を満たしていることを示す適合マークです。</p>

17. 適合宣言

BEKO TECHNOLOGIES GMBH
Im Taubental 7
41468 Neuss

GERMANY

Tel: +49 2131 988-0
www.beko-technologies.com



EU-Konformitätserklärung

Wir erklären hiermit, dass das nachfolgend bezeichnete Produkt den Anforderungen der einschlägigen Richtlinien und technischen Normen entspricht. Diese Erklärung bezieht sich nur auf das Produkt in dem Zustand, in dem das Produkt in Verkehr gebracht wurde. Nicht vom Hersteller angebrachte Teile und/oder nachträglich vorgenommene Eingriffe bleiben unberücksichtigt.

Produktbezeichnung:	Kondensatableiter
Modelle:	BEKOMAT® 20, 20 FM, 20 V, 20 VFM
Spannungsvarianten:	24 VDC, 24 VAC, 100 VAC, 115 VAC, 200 VAC, 230 VAC
Max. Betriebsdruck:	16 bar(ü)
Produktbeschreibung und Funktion:	Kondensatableiter zur elektronisch niveaugeregelten Ableitung von Kondensat im Druckluftnetz.

Niederspannungs-Richtlinie 2014/35/EU

Angewandte harmonisierte Normen: EN 61010-1: 2010/A1:2019/AC:2019-04

Die Geräte mit einer Betriebsspannung von 24 ... 48 VAC und 18 ... 72 VDC fallen nicht in den Anwendungsbereich der Niederspannungs-Richtlinie.

EMV-Richtlinie 2014/30/EU

Angewandte harmonisierte Normen: EN 61326-1:2013

ROHS II-Richtlinie 2011/65/EU

Die Vorschriften der Richtlinie 2011/65/EU zur Beschränkung der Verwendung bestimmter gefährlicher Stoffe in Elektro- und Elektronikgeräten werden erfüllt.

Der Hersteller trägt die alleinige Verantwortung für die Ausstellung dieser Konformitätserklärung.

Neuss, 21.12.2021

Unterzeichnet für und im Namen von:

BEKO TECHNOLOGIES GMBH

i.V. Christian Riedel
Leiter Qualitätsmanagement International

BEKO TECHNOLOGIES GMBH
Im Taubental 7
41468 Neuss

ドイツ

電話: +49 2131 988-0
www.beko-technologies.com



EU 適合性宣言書

当社はここに、以下に記載する製品が関連するガイドラインならびに技術規格の要件に適合していることを宣言いたします。この適合性宣言は流通のために出荷したままの状態にある製品のみ適用されます。製造元からの正規品でないものや後に改ざんされたものには適用されません。

製品名称:	ドレン排出器
機種:	BEKOMAT® 20、20 FM、20 V、20 VFM
電圧の種類:	24 VDC、24 VAC、100 VAC、115 VAC、200 VAC、230 VAC
最大運転圧:	16 bar (相対)
製品説明と機能:	圧縮空気ネットワーク内のドレンを電子式レベル調整で排出するためのドレン排出器。

低電圧指令 2014/35/EU

適用統一規格: EN 61010-1: 2010/ AI:2019/ AC:2019-04
運転電圧が 24~48 VAC と 18~72 VDC の機器は、低電圧指令の適用範囲外です。

電磁両立性指令 2014/30/EU

適用統一規格: EN 61326-1:2013

ROHS II 指令 2011/65/EU

電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州指令 2011/65/EU に準拠しています。

製造者はこの適合性宣言書の発行に関して全責任を負います。

代表者署名:

ノイス、2021/12/21

BEKO TECHNOLOGIES GMBH

i.V.クリスティアン・リーデル
品質管理部長国際部門

BEKO TECHNOLOGIES GMBH
Im Taubental 7
41468 Neuss

GERMANY

Phone: +49 2131 988-0
www.beko-technologies.com



UK Declaration of Conformity

We hereby declare that the product named below complies with the stipulations of the relevant directives and technical standards. This declaration applies only to the product in the condition in which it is marketed by us. Parts which have not been installed by the manufacturer and/or modifications which have been implemented subsequently remain unconsidered.

Product designation:	Condensate drain
Types:	BEKOMAT® 20, 20 FM, 20 V, 20 VFM
Supply voltage versions:	24 VDC, 24 VAC, 48 VAC, 100 VAC, 115 VAC, 200 VAC, 230 VAC
Max. operating pressure:	16 bar(g)
Product description and function:	Condensate drain for electronically level-controlled discharge of condensate in the compressed-air system.

Manufacturer:	BEKO TECHNOLOGIES GMBH Im Taubental 7, 41468 Neuss, Germany
----------------------	---

UK Representative:	BEKO TECHNOLOGIES Ltd Unit 11-12 Moons Park, Burnt Meadow Road, North Moons Moat Redditch, Worcs, B98 9PA, United Kingdom
---------------------------	--

Electrical Equipment (Safety) Regulations 2016, 2016 No. 1101	
Applied standards:	S.I. 2016 No. 1101 (EN 61010-1: 2010/A1:2019/AC:2019-04)

The devices with a working voltage of 24 ... 48 VAC and 18 ... 72 VDC are not governed by the scope of the Low Voltage Directive.

Electromagnetic Compatibility Regulations 2016, 2016 No. 1091	
Applied standards:	S.I. 2016 No. 1091 (EN 61326-1:2013)

RoHS Regulations 2012 No 3032 (2011/65/EU)

The products meet the requirements laid down in RoHS Regulations 2012 concerning the restriction of the use of certain hazardous substances in electrical and electronic devices.

The products bear the UKCA mark:



BEKO TECHNOLOGIES GMBH shall have sole responsibility for issuing this Declaration of Conformity.

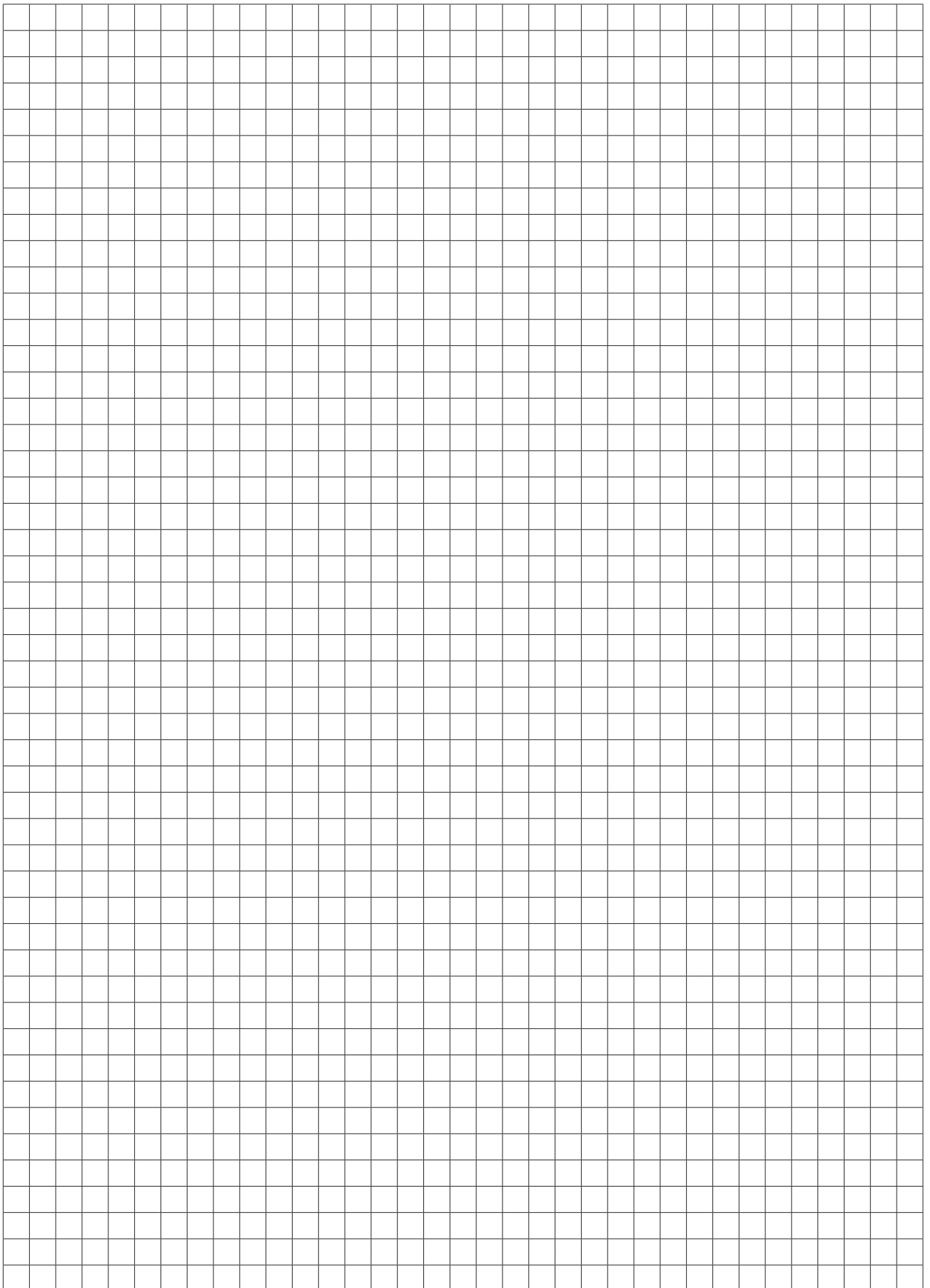
Neuss, 21.12.2021

Signed for and on behalf of:
BEKO TECHNOLOGIES GMBH

i.V. Christian Riedel
Head of Quality Management International

UK_decl_BM20_20FM_en_12_2021

18. ヌモ



BEKO TECHNOLOGIES GmbH

Im Taubental 7
 D - 41468 Neuss
 Tel. +49 2131 988 0
 Fax +49 2131 988 900
 info@beko-technologies.com
 service-eu@beko-technologies.com

DE**BEKO TECHNOLOGIES LTD.**

Unit 11-12 Moons Park
 Burnt Meadow Road
 North Moons Moat
 Redditch, Worcs, B98 9PA
 Tel. +44 1527 575 778
 info@beko-technologies.co.uk

GB**BEKO TECHNOLOGIES S.à.r.l.**

Zone Industrielle
 1 Rue des Frères Rémy
 F - 57200 Sarreguemines
 Tél. +33 387 283 800
 info@beko-technologies.fr
 service@beko-technologies.fr

FR**BEKO TECHNOLOGIES B.V.**

Veenen 12
 NL - 4703 RB Roosendaal
 Tel. +31 165 320 300
 benelux@beko-technologies.com
 service-bnl@beko-technologies.com

NL**BEKO TECHNOLOGIES
(Shanghai) Co. Ltd.**

Rm.715 Building C, VANTONE Center
 No.333 Suhong Rd.Minhang District
 201106 Shanghai
 Tel. +86 (21) 50815885
 info.cn@beko-technologies.cn
 service1@beko.cn

CN**BEKO TECHNOLOGIES s.r.o.**

Na Pankraci 58
 CZ - 140 00 Praha 4
 Tel. +420 24 14 14 717 /
 +420 24 14 09 333
 info@beko-technologies.cz

CZ**BEKO Tecnológica España S.L.**

Torruella i Urpina 37-42, nave 6
 E - 08758 Cervelló
 Tel. +34 93 632 76 68
 Mobil +34 610 780 639
 info.es@beko-technologies.es

ES**BEKO TECHNOLOGIES LIMITED**

Room 2608B, Skyline Tower,
 No. 39 Wang Kwong Road
 Kwoloon Bay Kwoloon, Hong Kong
 Tel. +852 2321 0192
 Raymond.Low@beko-technologies.com

HK**BEKO TECHNOLOGIES INDIA Pvt. Ltd.**

Plot No.43/1 CIEEP Gandhi Nagar
 Balanagar Hyderabad
 IN - 500 037
 Tel. +91 40 23080275 /
 +91 40 23081107
 Madhusudan.Masur@bekoindia.com
 service@bekoindia.com

IN**BEKO TECHNOLOGIES S.r.l**

Via Peano 86/88
 I - 10040 Leinì (TO)
 Tel. +39 011 4500 576
 Fax +39 0114 500 578
 info.it@beko-technologies.com
 service.it@beko-technologies.com

IT**BEKO TECHNOLOGIES K.K**

KEIHIN THINK Building 8 Floor
 1-1 Minamiwatarida-machi
 Kawasaki-ku, Kawasaki-shi
 JP - 210-0855
 Tel. +81 44 328 76 01
 info@beko-technologies.jp

JP**BEKO TECHNOLOGIES Sp. z o.o.**

ul. Pańska 73
 PL - 00-834 Warszawa
 Tel. +48 22 314 75 40
 info.pl@beko-technologies.pl

PL**BEKO TECHNOLOGIES S. de R.L. de C.**

BEKO Technologies, S de R.L. de C.V.
 Blvd. Vito Alessio Robles 4602 Bodega 10
 Zona Industrial
 Saltillo, Coahuila, 25107
 Mexico
 Tel. +52(844) 218-1979
 informacion@beko-technologies.com

MX**BEKO TECHNOLOGIES, CORP.**

900 Great Southwest Pkwy SW
 Atlanta, GA 30336
 USA
 Tel. +1 404 924-6900
 beko@bekousa.com

US